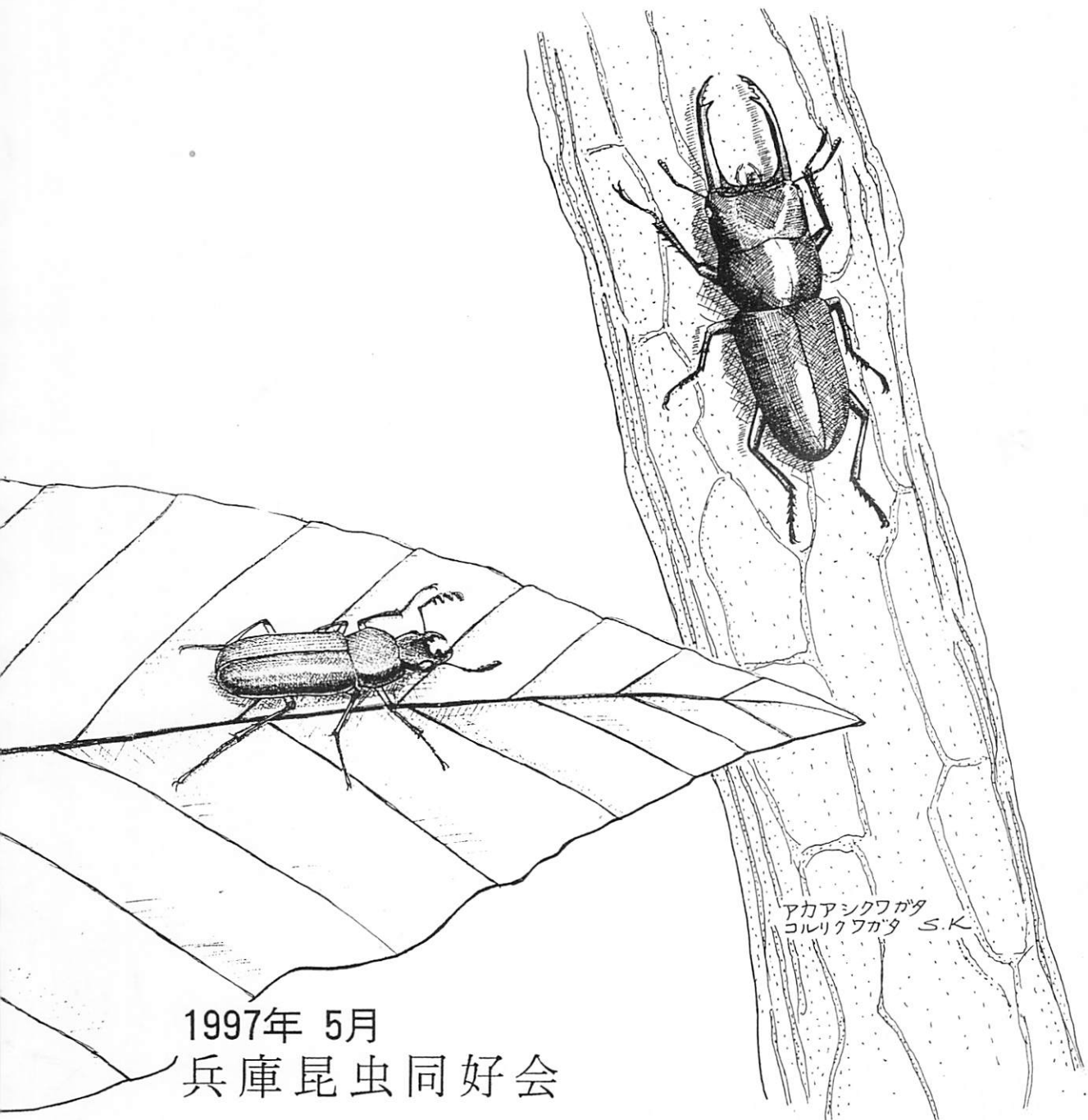


きべりはむし

第 2 5 卷 第 1 号



アカアシクワガタ
コリクワガタ S.K.

1997年 5月
兵庫昆虫同好会

兵庫昆虫同好会の25周年を祝う

奥谷 禎一

昨年機関誌"きべりはむし"24巻2号が送られてきて、編集者高橋壽郎氏より今年25周年を迎えるので一言とのことでした。まず本会が25年も続けられたのは、同士のなみなみならぬご努力の賜物と深い感謝と共に厚くお礼を申し上げる。

この同好会の始まりは、昭和26(1951)年末に筆者が篠山の兵庫農科大学に赴任し10年ほど経て兵庫県の上事情も少し分かりかけた頃、兵庫農業試験場の山口福男氏が、時々大学に立ち寄られ、いわゆる南方系害虫ミナミアオカメムシやサンカメイガの北進の話があり、チョウやガあるいはトンボといった虫屋の目に付きやすい昆虫類にそのような傾向はないだろうか、県下の多くの虫屋から記録を寄せてもらい情報交換はできないだろうかなどという事で、"兵庫虫の会"を旗揚げしてみようじゃないかと相談された。その後旗揚げでは情報はこうして生かされるという事を見せる形がよいのではとなり、1966(S. 41)年に県下の虫屋ばかりでなく農業改良普及員にも呼び掛け、ゲンジボタルの分布情報を集めてみた。その結果は山口氏と相談して取り纏め、"昆虫と自然"2巻3号に"兵庫県下のゲンジボタルの現況と問題点"と題して投稿した。その後筆者は留学し、留守中に大学は国立に移管し灘区六甲台に移転し、帰朝後は大学紛争に明け暮れ虫の会はお預けになってしまった。その後は自然保護運動に手を貸し、昭和45年兵庫県自然保護協会が設立され、多少の時間的余裕ができ、山口氏とも連絡が取れ再び虫の会設立をということになった。大体的話はまとめ、事務局問題では大学中心で運営されている地方同好会も多いが、大学人事では何時までも分類生態関係の教授が保証されているわけではないので、できればアマチュアで長く続けることが望ましいと

いう私見によって、兵庫県の虫屋といえばこの方しかないという高橋壽郎氏にお願いした所、快諾されお引き受け下さり今日まで続けられた次第である。先年からは後継の高島・近藤両氏に編集を託されるという万全の手配までして頂き、心からお礼を申し上げる次第である。

ようやく長年の念願であった自然系の博物館もでき、昆虫類の生息状況が環境指標の一つとして重要な意味を持つことがわかり始めた。ナガサキアゲハの北進も地球温暖化の指標の一つであろうと考えられるし、まとまった報告や論文でなくても書き残してあればきっと役に立つとの信念を持ってこの同好会を育てていきたいものと念願している。これからはコンピューターの時代で情報さえ入手できればという時代ではあるが、ディスクはウィルスに犯され消えることもあり印刷物は永久に残るものである。筆者は家庭の都合でやむなく転居したので、すっかり兵庫県の情報に疎くなり、先年の震災でさえ1年近くも経って被災されたことを知った方があり申し訳ないことをしたと悔やんでいる次第であるが、同好会の被害は比較的軽微であったようで、こんな地震には負けまいと直後の5月に23巻1号が、さらに年末には高橋氏の原著が3号として送られてきて大いに心強く思った。

生物の多様性が問題となる今日、次々と消えて行く虫たちの碑を建てることは悲しいが、会誌"きべりはむし"がその碑とならないことを願うと共に益々発展し、環境指標の一つの支えとなることを祈り、お祝いの言葉としたい。

(OKUTANI TEIICHI 埼玉県川越市霞ヶ関北町1丁目20-14)

兵庫県産水棲甲虫目録(1)・

高橋 寿郎

当初文献目録から拾った記録のみを集めて仮目録としてまとめようと考えたが、折角の機会であるので文献の記録のみならず、筆者の採集品もつけ加えた現時点でわかっている兵庫県産水棲甲虫目録としてまとめた。即ち、記録の[]の中に記されているのが文献からの引用であり、()の中のもののは筆者の採集品で、1ヶ所で多くの採集例のあるものは1例のみを掲げて他は etc. で省略してある。これら筆者の採集標本は原則として県立人と自然の博物館で保管されている。各種について必要のある種についてはその分布、産出状況についてコメントを入れるようにした。

本文作製については多くの方々の御教示、御支援を頂いている。一々御芳名は記さないが厚く御礼申しあげる。

かなり長文になるので分割発表とする。

Family Haliplidae コガシラミズムシ科

1. *Haliphus eximius* CLARK, 1863

キイロコガシラミズムシ

河野広道・神谷一男によってヒョウゴコガシラミズムシ *Haliphus hiogoensis* KONO et KAMIYA, 1931 が神戸、西宮産で記載されている(1931)。佐藤正孝によると(甲虫ニュースNo. 65, 1984)本種と何等差異を認めずとある。したがって本種と同一種に扱われている。

分布は広いようであるが神戸並びにその近傍での産は次第に数が少なくなり、絶滅に追いかけていっているのではと考えられる。

産地。伊丹市[谷口, 1944]。西宮市甲東園[Kono et KAMIYA, 1931]。神戸市[谷口, 1944]。山の街(2

exs., 1. X. 1956, etc.), 白川(6exs., 23. XI. 1956), 多井畑[谷口, 1944]。三木市大村(1ex., 10. V. 1990)。美囊郡吉川町(1ex., 4. V. 1992)。氷上郡[山本, 1952]。

2. *Haliphus japonicus* SHARP, 1873

クビボソコガシラミズムシ

次記チビコガシラミズムシに似ているが、一般的には少ない種とされている。神戸市内では割合産したが現在ではどうなっているか、あまり北の方での記録を知らない。

産地。尼崎市[谷口, 1944]。西宮市武庫川[大倉, 1955]。神戸市[谷口, 1944]。山の街(2exs., 1. X. 1956, etc.), 白川(6exs., 23. XI. 1956), 多井畑[谷口, 1944]。三木市大村(1ex., 10. V. 1990)。美囊郡吉川町(1ex., 4. VI. 1992)。氷上郡[山本, 1952]。

3. *Haliphus minutus* TAKIZAWA, 1931

チビコガシラミズムシ

前記クビボソコガシラミズムシに似るが、さらに小さい種で佐藤正孝によると(1985)北海道には普通ではあるが本州ではほとんど記録がないとある。神戸及びその他の記録はいずれも古いが、はたして現在分布しているのかどうか再調査の必要はありそうである。

産地。尼崎市[谷口, 1944]。神戸市武庫郡, 本山村, 多井畑[谷口, 1944]。西宮市武庫川[大倉, 1955]。

4. *Haliphus ovalis* SHARP, 1884

ヒメコガシラミズムシ

普通に見られる種である。

産地。尼崎市[谷口, 1944]。伊丹市昆陽池[大倉, 1955]。西宮市瓦木, 甲陽園[谷口, 1944]。神戸市山の街(1ex., 9. X. 1955), 多井畑(1ex., 21. VII.

1955) [谷口, 1944], 道場 (lex., 13. IV. 1974). 高砂市高砂 [TAKIZAWA, 1931]. 小野市来住町 (lex., 30. V. 1991). 龍野市神岡町 (lex., 14. IX. 1988). 氷上郡 [山本, 1952, 1958].

5. *Haliphus sharpi* WEHNCKE, 1880

マダラコガシラミズムシ

あまり多くない。古く *Haliphus tsukushiensis* YOSHIMURA なる学名で記録されたものはこの種に当る (地名の所に*印をつけた)。

産地。川辺郡猪名川町木間生* [仲田, 1979, 1982]. 西宮市* [大倉, 1955]. 神戸市本山村* [谷口, 1944]. 北区八多町屏風 (lex., 23. VII. 1993). 美濃郡吉川町奥山 (lex., 17. V. 1986). 氷上郡* [山本, 1958].

6. *Peltodytes intermedius* (SHARP, 1873)

コガシラミズムシ

分布も広く普通に産する種である。

産地。洲本市三熊山 [久松, 1973]. 川辺郡猪名川町木間生, 内馬場 [仲田, 1982]. 川西市大和 [仲田, 1978, 1982]. 伊丹市 [谷口, 1944]. 昆陽池 [大倉, 1955]. 尼崎市 [谷口, 1944]. 西宮市 [谷口, 1944]. 宝塚市 (6exs., 20. IV. 1956). 売布が丘, 大原野 [芦田, 1992]. 神戸市 [谷口, 1944]. 山の街 (6exs., 9. X. 1955, etc.). 藍那 (2exs., 26. VII. 1993). 白川 (1 ex., 23. XI. 1956). 多井畑 [谷口, 1944]. 北区岩谷峠 (lex., 20. XI. 1981). 八多町屏風 (4exs., 22. VII. 1993). 美濃郡吉川町 (2exs., 2. VII. 1986, etc.). 小野市来住町 (lex., 30. V. 1991). 氷上郡 [山本, 1952, 1958]. 出石郡但東町小谷 [高橋, 1963]. 養父郡氷の山 (3exs., 25. VII. 1959).

Family Phreatodytidae ムカシゲンゴロウ科

日本に固有の科でムカシゲンゴロウ属 *Phreatodytes* のみを含む。一生を地下水中で生活する。幼虫はムカシゴミムシ類のものに似ている。

1. *Phreatodytes relictus* S. UENO, 1957

ムカシゲンゴロウ

地下水中に生息する。森, 北山による説明によると (1993) 飼育下の観察ではほとんど泳げず, 底を極めてゆっくりと歩くのみとある。呼吸のため水面まであがることもなく, おそらく水中の溶存酸素を利用しているものと思われるとある。

現在, 兵庫県と京都府のみから知られているにすぎない。四国と九州で未記載種が1種ずつあるとのこと。

産地。相生市, 姫路市太子町 [上野, 1957. 中根, 1959, 1963. 阪口, 1981. 佐藤, 1985]. 姫路市飾西 [森, 北山, 1993].

Family Noteridae コツブゲンゴロウ科

1. *Canthydrus palitus* (SHARP, 1873)

ムツボシツヤコツブゲンゴロウ

地域変異・個体変異が多く美しい種である。産地は局地的であるが生息地での個体数は多い。池沼の浅瀬の植物の多い水域に一年中見られるが, 特に夏期に多くなると。

兵庫県下での記録はそれ程多くない。播磨平野の池沼の減少でわりと出会いが少なくなっているのではないかと考えられる。

産地。Hiogo [SHARP, 1873]. 神戸市多井畑 (5exs., 21. VII. 1955) [大倉, 1955]. 垂水 [関, 1945]. 高砂市高砂 [TAKIZAWA, 1932]. 加西市青野ヶ原 [森, 北山, 1993].

2. *Neokydrocaptes* sp.

ムモンチビコツブゲンゴロウ

兵庫県加西市青野ヶ原のジュンサイの繁茂する池の岸辺の草間より2個体を得られただけとのこと。学名もまだ与えられていない (1993年現在)。和名は森, 北山氏によって与えられた (1993)。

産地。加西市青野ヶ原 [森, 北山, 1993].

3. *Noterus japonicus* SHARP, 1873

コツブゲンゴロウ

平地の池沼、湿地、農田などの特に植物の多い富栄養な水域に生息し、分布も広く兵庫県でも広く分布している。

産地。宝塚市大原野[芦田, 1992]。西宮市盤滝(1ex., 28. V. 1987)。芦屋市[関, 1945]。神戸市押部谷町木見(1ex., 15. IX. 1980)。北区八多町屏風(6exs., 22. V. 1993)。多井畑[関, 1945]。美嚙郡吉川町(2exs., 19. IX. 1985)。吉川町奥山(3exs., 5. VI. 1986, etc.)。出石郡但東町小坂[高橋, 1965]。

Family Dytiscidae ゲンゴロウ科

Subfamily Hydroporinae ケシゲンゴロウ亜科

1. *Leiodytes frontalis* (SHARP, 1884)

マルチビゲンゴロウ

池沼、放棄水田などの草本植物の多い浅瀬に生息し古くはわりと見ることが出来たが、最近なかなかお目にかかれなくなったように思われる。冬季にも得られる種である。

産地。宝塚市内(2exs., 22. IV. 1956, etc.)。神戸市本山町, 多井畑[関, 1945]。三木市細川(1ex., 13. IX. 1985)。加西市青野ヶ原[森, 北山, 1933]。

2. *Guignotus japonicus* (SHARP, 1873)

チビゲンゴロウ

水田、湿地、荒地の水たまり、池沼などの止水から流水のよどみなどにも見られる。成虫で越冬する。ごく普通のゲンゴロウである。県下の分布も広く産地も多い。

産地。洲本市三熊山[久松, 1973]。川辺郡猪名川[関, 1945]。川西市大和, 笹部[仲田, 1978, 1982]。伊丹市[河上, 1984]。宝塚市(2exs., 23. IV. 1956, etc.)。香合新田[芦田, 1992]。神戸市本山村, 垂水[関, 1945]。山の街(6exs., 9. X. 1955, etc.)。白川(1ex., 23. IV. 1956)。谷上(2exs., 23. VIII. 1979)。太山寺(1ex., 6. V. 1957)。三木市細川(1ex., 13. IX.

1985)。加西市畑(8exs., 29. VI. 1974)。小野市来住町(6exs., 30. V. 1991)。加東郡東条町森(1ex., 11. V. 1986)。社町三草(4exs., 22. V. 1989)。美嚙郡吉川町(1ex., 2. VIII. 1985, etc.)。龍野市神岡町(1ex., 8. IX. 1968)。多紀郡篠山町雨石山[林ほか, 1995]。氷上郡[山本, 1952, 1958]。出石郡出石町寺坂[高橋, 1963]。豊岡市内[高橋, 1975]。養父郡水の山(2exs., 27. VII. 1956, etc.)。美方郡扇の山[辻, 1963。辻, 岸田, 1972]。

3. *Hydrovatus acuminatus* MOTSCHULSKY, 1859

コマルケシゲンゴロウ

池沼の浅瀬や湿地、放棄水田などの植物の豊富な水域から得られる。産地は局地的のようで、県下の分布もあまり知られていない。

産地。宝塚市大原野松尾[芦田, 1992]。加西市青野ヶ原[森, 北山, 1983]。氷上郡[山本, 1952, 1958]。

4. *Hydrovatus bonvouloiri* SHARP, 1882

オオマルケシゲンゴロウ

池沼の浅瀬や湿地、放棄水田などの植物の豊富な水域から得られているが、分布が局地的で個体数も少ないとある。兵庫県下での記録は次の地点が知られているだけである。

産地。神戸市北区大沢町[阿部, 神奈川博, 1995]。

5. *Hydrovatus subtilis* SHARP, 1882

マルケシゲンゴロウ

池沼の浅瀬や湿地、放棄水田などの植物の多い水域から得られるが、産地は局地的で個体数も少ない。県下の記録も少ない。

産地。川辺郡猪名川町木間生, 内馬場[仲田, 1979, 1982]。加西市青野ヶ原[森, 北山, 1993]。出石郡出石町[高橋, 1965]。

6. *Hydrovatus yagii* KITAYAMA, MORI et MATSUI, 1993

ヤギマルケシゲンゴロウ

本種は加西市の丘陵地の大きな池の浅瀬で植物の豊富な水域から、多くのマルケシゲンゴロウやコマルケシゲンゴロウ、ムツボシツヤコツブゲンゴロウなどの小型種とともに得られたもので、初夏には個体数も多いとある。産地がこの地域以外南西諸島(奄美諸島、石垣島、西表島)にのみ知られているといった大変局地的で変わった産地状況である。もっと他にも産地があるのかも知れない。

7. *Hyphydrus japonicus* SHARP, 1873

ケシゲンゴロウ

池沼、水田、湿地などの止水域に広く普通に見られ、灯火にも飛来する。県下でも広く分布し普通に得られる。

産地。川辺郡猪名川[関, 1945]、猪名川町木間生[仲田, 1979, 1982]。川西市大和[仲田, 1978, 1982]。伊丹市昆陽池[大倉, 1955]。宝塚市玉瀬、売布が丘[芦田, 1992]。西宮市武庫川[関, 1945]、甲山[神奈川博, 1995]。Hiogo[SHARP, 1873]。神戸市住吉[関, 1945]、島原(1ex., 30. VII. 1952)、山の街(1ex., 5. V. 1955, etc.)、妙法寺(1ex., 23. V. 1979)、多井畑(5exs., 21. VII. 1955)、白川(3exs., 23. XI. 1956, etc.)、押部谷町木見(6exs., 15. IX. 1980)、北区大沢町[阿部, 神奈川博, 1995]。高砂市[TAKIZAWA, 1933]。三木市口吉川笹原(7exs., 26. IX. 1986)、三木山(3exs., 28. V. 1992)。美郷郡吉川町(3exs., 2. VII. 1985)、奥山(1ex., 8. V. 1986, etc.)。小野市来住町(2exs., 12. IX. 1991)。加西市青野ヶ原[森, 北山, 1993]。多紀郡雨石山[林ほか, 1995]。氷上郡[山本, 1952, 1958]。出石郡但東町赤野[高橋, 1963]。美方郡属ノ山[辻, 1964。辻, 岸田, 1972]。

8. *Hyphydrus laeiventris* SHARP, 1882

ヒメケシゲンゴロウ

池沼、放棄水田、湿地などの止水域に生息するが、産地はかなり局地的で個体数は多くないとある。兵庫県下での記録は次の地点が知られているだけで調査不十分の種である。

産地。淡路島福良[阿部, 神奈川博, 1995]。

9. *Morimotoa phreatica* S. UENO, 1957

メクラゲンゴロウ

地下水中に生息し、井戸から得られている。採集がわりと難しいので産地がほとんど知られていないが、調査を詳しくやれば意外と広い分布を有するのかも知れない。現在のところ、姫路市、相生市の数カ所、他府県では京都府で嵯峨が知られているにすぎない。

産地。揖保郡太子町矢田部、姫路市、相生市[森, 北山, 1993]。姫路市、相生市両水源地、揖保郡太子町[三浦, 森本, 横田, 1956。上野, 1957。中根, 1959]。姫路市[佐藤, 1985]。姫路市西飾西[森, 北山, 1993]。

10. *Morimotoa phreatica miurai* S. UENO, 1957

ミウラメクラゲンゴロウ

この亜種も地下水中に生息し、井戸から得られている。分布が限定されている。

産地。氷上郡柏原町[山本, 1958。中根, 1959]。柏原[佐藤, 1985。阪口, 1981]。

11. *Neonectes natrix* (SHARP, 1884)

ゴマダラチビゲンゴロウ

清流の石の多い所に見られる。かなり流れの速い膝くらいの深さのところでも得られているとのこと。分布は局地的のようで、県下の分布は次の地点が知られているのみである。

産地。氷上郡佐治[山本, 1958]。

12. *Nipponhydrus flavomaculatus* (KAMIYA, 1938)

キボシゲンゴロウ

低山地～山地の清流に生息する。本流岸辺の岩影など流れの緩やかな水域や、よどみの石の下、本流に流れ込むきわめて小さな支流の石や落ち葉の下から採集されとのこと。

分布は局地的で個体数は一般に少ない。県下で

もあり産地が知られていない。

産地。西宮市武庫川[関, 1944, 1945]。神戸市北区道場[森, 北山, 1993]。氷上郡柏原川[山本, 1952, 1958, 佐藤, 1958]。

13. *Nebrioporus nipponicus* (TAKIZAWA, 1933)

ヒメシマチビゲンゴロウ

清流に生息する。従来コシマチビゲンゴロウ *Potamonectus hostilis* (SHARP, 1884) の学名で知られていた種は九州南部にのみ分布している種であり、シノニムとして取り扱われていた上記学名の種が明らかに区別出来、本州、四国に分布している種であるとされた(森, 北山, 1993)。県下の分布も広いのではないと思われる。

産地。淡路島[森, 北山, 1993]。西宮市武庫川[大倉, 1955, 関, 1945]。仁川(1ex., 21. X. 1956)。神戸市瓦木村逆瀬川[関, 1945]。加西市畑(1ex., 23. VI. 1974)。

Subfamily Laccophilinae ツブゲンゴロウ亜科

14. *Laccophilus difficilis* SHARP, 1873

ツブゲンゴロウ

池沼、湿地、水田、放棄水田などの止水に見られ灯火にもよく飛来する。成虫で越冬。県下にも広く分布している。

産地。洲本市三熊山[久松, 1973]。川西市見野、大和[仲田, 1978, 1982]。伊丹市[河上, 1984]。宝塚市売布が池、香合新田[芦田, 1992]。神戸市武庫村、多井畑、垂水[関, 1945]。鳥原(1ex., 30. VII. 1951)。山の街(28exs., 3. X. 1955, etc.)。道場(2exs., 23. XI. 1956)。広野(2exs., 15. IV. 1956)。白川(2exs., 13. IV. 1956, etc.)。多井畑(10exs., 21. VII. 1956)。下谷上(3exs., 23. VIII. 1979)。押部谷(2exs., 15. IX. 1980)。岩谷村(2exs., 20. XI. 1981)。藍那(5exs., 26. VIII. 1993)。大沢町[神奈川博, 1995]。高砂市高砂[TAKIZAWA, 1932]。三木市細川中(1ex., 13. IX. 1985)。三木山(1ex., 28. V. 1992)。美濃郡吉川町

(1ex., 2. VII. 1985)。奥山(2exs., 8. V. 1986, etc.)。加西市畑(2exs., 29. VI. 1974, etc.)。多紀郡雨石山[林ほか, 1995]。氷上郡[山本, 1952, 1958]。出石郡出石町松ヶ枝[高橋, 1963]。豊岡市櫻町[高橋, 1975]。城崎郡日高町知見[高橋, 1975]。美方郡扇ノ山[辻, 岸田, 1972]。

15. *Laccophilus flexuosus* AUBE, 1838

ナミスジツブゲンゴロウ

南西諸島から台湾、中国から東南アジアにかけて広く分布している種である。Kobe の記録が BRANCUCCI によってされている(1983)。

中根猛彦博士がのべられているごとく(1991)神戸産はシャープツブゲンゴロウを誤って記録したのではないかと考えられる。

産地。神戸[BRANCUCCI, 1989]。

16. *Laccophilus kobensis* SHARP, 1873

コウベツブゲンゴロウ

種名にあるように神戸原産種である。低地の池沼、湿地、放棄水田などの水域に生息するが、あまり普通に見られる種では無い。最近では減少しているのではないだろうか。

産地。宝塚市内(1ex., 19. IX. 1958)。神戸[SHARP, 1873]。武庫村[関, 1945]。明石市。高砂市[TAKIZAWA, 1932]。

17. *Laccophilus lewisius* SHARP, 1873

ルイスツブゲンゴロウ

低地の池沼、湿地、放棄水田などの水域に生息する。広く分布しているようである。

産地。洲本市三熊山[久松, 1973]。伊丹市昆陽池[大倉, 1955]。宝塚市内(18exs., 22. IV. 1956)。神戸[SHARP, 1873, 関, 1945]。多井畑(9exs., 21. VII. 1955)。太山寺(1ex., 6. V. 1957)。下谷上(1ex., 23. VIII. 1979)。垂水(1ex., 10. V. 1985)。伊川谷前開(1ex., 19. V. 1988)。高砂市高砂[TAKIZAWA, 1932]。三木市口吉川町笹原(5exs., 26. IX. 1986)。美濃郡

吉川町奥山(3exs., 17. V. 1986). 加西市青野ヶ原[森, 北山, 1993]. 龍野市神岡町(1ex., 14. IX. 1988). 氷上郡[山本, 1958]. 城崎郡日高町日置[高橋, 1975].

18. *Laccophilus sharpi* REGIMBART, 1889

シャープツブゲンゴロウ

湿地, 放棄水田, 池沼などの止水域に生息し, わりと普通に見られるし, 分布もかなり広い.

産地. 洲本市三熊山[久松, 1973]. 川辺郡猪名川[関, 1945]. 川西市大和, 笹部[仲田, 1978, 1982]. 伊丹市[関, 1945]. 西宮市広田山[大倉, 1955]. 神戸市白川(3exs., 23. XI. 1956, etc.), 妙法寺(1ex., 23. VI. 1979), 太山寺(1ex., 6. V. 1957), 多井畑(18 exs., 21. VIII. 1955)[関, 1945], 押部谷木見(2exs., 15. IX. 1980), 岩谷峠(2exs., 20. XI. 1981), 伊川谷前開(1ex., 19. V. 1988). 高砂市[TAKIZAWA, 1932]. 三木市細川中(1ex., 13. IX. 1985), 口吉川町笹原(2exs., 26. IX. 1986), 志染(2exs., 28. V. 1982). 美濃郡吉川町(1ex., 21. V. 1992). 加西市青野ヶ原[森, 北山, 1993], 畑(2exs., 29. VI. 1974, etc.). 小野市来住町(6exs., 30. V. 1991, etc.). 龍野市神岡町(1ex., 8. IX. 1988). 氷上郡[山本, 1952, 1958]. 出石郡出石町[高橋, 1963].

Subfamily Colymbetinae ヒメゲンゴロウ亜科

19. *Agabus browni* KAMIYA, 1934

チャイロマメゲンゴロウ

ため池, 湿地などに見られるが, あまり個体数は多くない. 産地も比較的少ないように思われる.

産地. 神戸市山の街(1ex., 29. IV. 1957), 多井畑[関, 1945. 谷口, 1944]. 阪神地方[谷口, 1944]. 加東郡東条町森(2exs., 11. V. 1984).

20. *Agabus conspicuus* SHARP, 1873

クロズマメゲンゴロウ

ため池, 湿地などに数多く生息する.

産地. 神戸市白川(1ex., 23. XI. 1956), 藍那(2exs., 5. V. 1966), 多井畑[関, 1945]. 揖保郡新宮町福原(2exs., 10. V. 1992). 氷上郡[山本, 1952, 1958]. 城崎郡香住町小原[高橋, 1976]. 養父郡氷の山[高橋, 1959].

21. *Agabus japonicus* SHARP, 1873

マメゲンゴロウ

普通種である. 一般に止水に生息するが, あらゆる水域に見られる.

産地. 西宮市武庫川[関, 1945]. 宝塚市香合新田[芦田, 1992]. Hiogo[SHARP, 1873]. 神戸市白川(1ex., 23. XI. 1956), 多井畑[関, 1945], 押部谷(1ex., 23. III. 1981), 広野(4exs., 15. IV. 1956), 長待山(1ex., 7. V. 1982), 芦谷溪谷(2exs., 5. VI. 1982). 三木市三木・志染(1ex., 28. V. 1992). 氷上郡[山本, 1952, 1958]. 城崎郡来日山[高橋, 1976]. 日高町奈佐路(1ex., 30. V. 1986).

22. *Agabus optatus* SHARP, 1884

クロマメゲンゴロウ

本州では主に山地帯に産し, 点々と分布しているとのこと. 県下からは次の記録を知るのみである.

産地. 美方郡温泉町前[森, 北山, 1993].

23. *Copelatus japonicus* SHARP, 1884

セスジゲンゴロウ

おもに河川敷などの不安定な水域に生息する. この属のものは大変良く似ている種があり, その同定にあたっては♂交尾器によらなければならず, かなり分類の困難なグループである.

産地. 伊丹市[河上, 1984]. 神戸市[SATO, 1985]. 出石郡出石町小人[高橋, 1965]. 養父郡氷の山(1ex., 24. VII. 1955).

24. *Copelatus kammuriensis* TANU ET TSUKAMOTO,

1955

カンムリセスジゲンゴロウ

若狭湾に浮かぶ京都府冠島から記載された。一般に大きな河川の河川敷や荒れ地の水たまりなどの不安定な水域に生息する。分布は局地的である。屋間にも飛翔していると。

県下の記録は次のごとくある。

産地。宝塚市安倉[小田中, 1994]。西宮市甲山[神奈川, 1995]。

25. *Copelatus parallelus* ZIMMERMANN, 1920

コセスジゲンゴロウ

きわめて稀な種で、大阪府の淀川と原産地の“摂津”での産が知られているだけである。

産地。兵庫摂津[♂, ZIMMERMANN, 中根, 1963, 1989]

26. *Copelatus teranishii* KAMIYA, 1938

テラニシセスジゲンゴロウ

かなり局地的に産が知られているようである。県下の記録も大変少ない。

産地。兵庫県[中根, 1989, 森, 北山, 1993]。神戸市本山[大倉, 1955]。

27. *Copelatus weymarni* BALFOUR-BROWNE, 1946

ホソセスジゲンゴロウ

大きな河川の河川敷や、荒れ地の水たまり、湿地などに普通に見られ、灯火にもよく飛来するとあるが、兵庫県下の記録は大変少ない。

産地。宝塚市大原野松尾[芦田, 1992]。豊岡市小田井[高橋, 1976]。

28. *Ilybius apicalis* SHARP, 1873

キベリクロヒメゲンゴロウ

ヨシなどが生えている比較的大きな池沼に生息していることが多い。灯火にも飛来すると。県下では東南部分に産が知られている。

産地。川西市平野[仲田, 1978, 1982]。伊丹市[河上, 1984]。宝塚市武庫川[関, 1945]。武庫川町[新家, 1988]。売布が丘, 南口2丁目[芦田, 1992]。

西宮市[大倉, 1955]。Hiogo[SHARP, 1873]。神戸市多井畑, 垂水[関, 1945]。藍那(lex., 26. VII. 1993)。

29. *Platambus fimbriatus* (SHARP, 1884)

キベリマメゲンゴロウ

清流に生息する種であるが、県下での記録はかなり少ない。

産地。川辺郡神津村(軍行橋付近)[瀧口, 1933]。猪名川[関, 1945]。西宮市武庫川, 武庫村, 瓦木村[関, 1945]。氷上郡氷上町大岡[山本, 高橋, 1962]。

30. *Platambus pictipennis* (SHARP, 1873)

モンキマメゲンゴロウ

清流性のゲンゴロウで普通に見られるゲンゴロウである。

新成虫は4～5月に出現し、成虫で越冬する。

産地。川辺郡猪名川[関, 1945]。川西市見野, 笹部[仲田, 1978, 1982]。宝塚市武庫川[関, 1945, 大倉, 1955]。売布が丘, 玉瀬, 武庫川町[芦田, 1992]。西宮市甲陽園[関, 1945]。仁川(lex., 21. X. 1956)。Hiogo[SHARP, 1873]。神戸市島原(lex., 30. VI. 1950), 山の街(lex., 9. X. 1955), 武庫村, 垂水[関, 1945]。北区道場[森, 北山, 1933]。揖保郡新宮町福原(lex., 10. V. 1992)。氷上郡[山本, 1952, 1958]。出石郡出石町内町[高橋, 1963]。

31. *Rhantus erraticus* SHARP, 1884

オオヒメゲンゴロウ

主として湿地とか放棄水田など水深の浅い水域に多く見られる。あまり県下での記録が無い。

産地。三原郡八木養宜[藤富, 1995]。神戸市北区大沢町[北山, 1991]。美濃郡吉川町(lex., 26. VII. 1985)。

32. *Rhantus pulverosus* (STEPHENS, 1828)

ヒメゲンゴロウ

普通に見られる種である。成虫は1年中見られ、灯火にもよく飛来する。

産地. 洲本市安乎町, 先山[堀田, 1978]. 川辺郡猪名川[関, 1935]. 川西市一の鳥居, 笹部, 大和[仲田, 1978, 1982]. 伊丹市[河上, 1984], 昆陽池[大倉, 1955]. 宝塚市武庫川[関, 1935], 南口2丁目, 武庫川町[新家, 1988], 香合新田, 南口2丁目[芦田, 1992]. 神戸市住吉村, 本山村, 多井畑[関, 1935], 御影[関, 1933], 摩耶山(lex., 21. VII. 1955), 山の街(lex., 3. VIII. 1950, etc.), 広野(lex., 19. IV. 1958), 押部谷町木見(7exs., 15. IX. 1980). 美濃郡吉川町奥山(lex., 10. VI. 1986). 加西市畑(4exs., 23. VI. 1974, etc.). 宍粟郡波賀町上野[相坂, 1995]. 水上郡[山本, 1952, 1958]. 出石郡出石町広原[高橋, 1963]. 豊岡市福田[高橋, 1975]. 養父郡水の山(lex., 27. VII. 1956).

Subfamily Dytiscinae ゲンゴロウ亜科

33. *Cybister brevis* AUBE, 1838 クロゲンゴロウ
水生植物の生えた池沼, 放棄水田, 水田の溝などに生息する。わりと県下に広く分布している。

産地. 川辺郡神津村軍行橋附近[瀧口, 1933]. 尼崎市[関, 1945], 尼崎西南部[新家, 1991]. Hiogo[SHARP, 1873]. 神戸市御影[関, 1933], 武庫村, 多井畑, 谷上, 垂水[関, 1945], 山田村[大倉, 1955], 二十渉(lex., 26. VI. 1955), 山の街(6exs., 5. V. 1955, etc.). 水上郡[山本, 1958]. 出石郡但東町西谷[高橋, 1963]. 城崎郡日高町弓場[高橋, 1975]. 美方郡村岡町租岡[森, 北山, 1993].

34. *Cybister japonicus* SHARP, 1873 ゲンゴロウ
水生植物の生えた池沼や放棄水田, 湿地に生息, 以前はわりと普通に見られたが, 農業, 圃場整備, 池沼の埋め立てや護岸などによって最近ではお目にかかることが少なくなって珍品の仲間になってきている。

産地. 尼崎市西南部[新家, 1991]. Hiogo[SHARP, 1873]. 神戸市御影[関, 1933], 武庫村, 一王山, 徳井, 多井畑, 谷上[関, 1945], 山田村[大倉, 1955], 山

の街(3exs., 5. X. 1955, etc.). 水上郡[山本, 1952, 1958]. 出石郡但東町口藤[高橋, 1963]. 豊岡市堀川橋[高橋, 1975].

35. *Cybister lewisianus* SHARP, 1873

マルコガタノゲンゴロウ

水生植物の生えた比較的大きな池沼に生息するが, かなり稀な種のようなのである。

産地. 洲本市先山[堀田, 1978]. 伊丹市昆陽池[大倉, 1955]. 神戸市徳井, 多井畑[関, 1945].

36. *Cybister tripunctatus orientalis* GSCHWENDTER,

1931

コガタノゲンゴロウ

水生植物の生えた池沼, 放棄水田などに生息する。かつてはわりと見られたが現在では非常に少なくなっている。

産地. 伊丹市[関, 1945]. 宝塚市武庫川[関, 1945]. 西宮市広田山[大倉, 1955]. 神戸市御影[関, 1933], 武庫村[関, 1945], 山の街(lex., 9. X. 1955). 水上郡[山本, 1952, 1958]. 豊岡市三宅[高橋, 1976].

37. *Eretes sticticus* (LINNAEUS, 1767)

ハイイロゲンゴロウ

普通種である。

産地. 洲本市安乎町[堀田, 1978]. 川辺郡猪名川[関, 1945], 猪名川町日生ニュータウン[仲田, 1978, 1982]. 伊丹市[関, 1945, 河上, 1984]. 宝塚市武庫川[関, 1945], 南口2丁目[新家, 1988], 売布が丘, 南口2丁目[芦田, 1992]. 西宮市広田山[大倉, 1955]. Hiogo[Schönfeldt, 1887]. 神戸市本山村, 徳井, 多井畑[関, 1945], 御影[関, 1933], 山の街(lex., 9. X. 1955), 白川(lex., 23. XI. 1956), 北区大沢[森, 北山, 1993]. 神奈川博, 1955]. 加西市畑(lex., 27. VII. 1974). 飾磨郡家島[上田, 1981]. 水上郡[山本, 1952, 1958]. 出石郡出石町堀橋[高橋, 1975]. 豊岡市幸町[高橋, 1975].

38. *Graphoderes adamsi* (CLARK, 1864)

マルガタゲンゴロウ

平地や丘陵地の休耕田、放棄水田、池沼などの水域に生息している。灯火にも飛来する。県下に広く分布、普通に見られたが最近はあまり見られなくなっている。

産地。川辺郡猪名川[関, 1945]。伊丹市昆陽池[大倉, 1955]。宝塚市武庫川[関, 1945]。Hiogo [SCHÖNFELDT, 1887]。神戸市谷上[関, 1945]。山の街(3exs., 5. V. 1955, etc.)。氷上郡[山本, 1952, 1958]。出石郡但東町畑山[高橋, 1963]。豊岡市福田[高橋, 1975]。城崎郡松ヶ枝[高橋, 1975]。養父郡氷の山(1ex., 25. VII. 1955)。

39. *Hydaticus bowringi* CLARK, 1864

シマゲンゴロウ

かなり広い範囲に分布しているが個体数は必ずしも多くない。特に最近はお目にかかるのが少なくなったように思われる。

産地。川辺郡猪名川[関, 1945]。猪名川日生ニュータウン[仲田, 1978, 1982]。川西市一庫[仲田, 1978]。伊丹市[関, 1945]。昆陽池[大倉, 1955]。宝塚市武庫川町[新家, 1988]。売布が丘、玉瀬、武庫川町[芦田, 1992]。西宮市武庫川[関, 1945]。Hiogo [SCHÖNFELDT, 1887]。神戸市御影[関, 1933]。徳井、多井畑[関, 1945]。山の街(1ex., 20. IV. 1958)。押部谷木見(1ex., 15. IX. 1980)。藍那(1ex., 28. VII. 1993) [森, 1986]。道場[森, 北山, 1993]。氷上郡[山本, 1952, 1958]。出石郡但東町赤西[高橋, 1963]。城崎郡日高町富田[高橋, 1975]。美方郡温泉町中辻[森, 北山, 1933]。

40. *Hydaticus grammicus* (GERMAR, 1830)

コシマゲンゴロウ

広く普通に産する。

産地。洲本市三熊山[久松, 1974]。安乎町[堀田, 1978]。三原町八木養宜(三原郡)[藤富, 1995]。川辺郡猪名川[関, 1945]。猪名川町槻並、日生ニュー

タウン[仲田, 1978, 1982]。川西市見野、笹部、大和[仲田, 1978, 1982]。伊丹市[河上, 1984]。昆陽池[大倉, 1955]。宝塚市武庫川[関, 1945]。南口2丁目[新家, 1988]。売布が丘、玉瀬、南口2丁目[芦田, 1992]。西宮市甲陽園[関, 1945]。神戸市武庫村、本山村、多井畑[関, 1945]。山の街(1ex., 5. V. 1955, etc.)。伊川谷前開(1ex., 19. V. 1987)。多井畑(1ex., 23. V. 1990)。三木市内(2exs., 28. VII. 1978)。美婁郡吉川町(1ex., 21. V. 1992)。小野市来住町(1ex., 12. IX. 1991)。加西市畑(5exs., 29. VI. 1974, etc.)。出石郡但東町赤野[高橋, 1963]。豊岡市市内、福田[高橋, 1975]。

41. *Hydaticus rhanthoides* SHARP, 1882

ウスイロシマゲンゴロウ

産地がわりと限定されているようである。それ程普通にいる種ではない。

産地。洲本市安乎町[堀田, 1978]。宝塚市武庫川[関, 1945]。南口2丁目[新家, 1988]。売布が丘、武庫川町[芦田, 1992]。神戸市本山村、垂水[関, 1945]。藍那(3exs., 21. IV. 1993)。山の街(5exs., 9. X. 1955, etc.)。北区大沢町[阿部, 1995]。八多[森, 北山, 1993]。北部[北山, 八木, 1932]。

42. *Hydaticus satoi* WEWALKA, 1975

スジゲンゴロウ

現在の産出状況がわからない。

産地。淡路島[関, 1945]。豊岡市三宅[高橋, 1976]。

43. *Hydaticus thermonectoides* SHARP, 1884

マダラスジゲンゴロウ

兵庫県下での記録はわりと少ない。

産地。兵庫県[中根, 1990]。神戸市山の街(2exs., 5. V. 1955)。多井畑[生駒, 1938]。氷上郡鴨庄[山本, 1952, 1958]。出石郡出石町荒木[高橋, 1965]。

(TAKAHASHI TOSHIO 神戸市兵庫区氷室町1-44)

兵庫県氷上郡地方の蛾類(2)

山本 義丸

前報に引続き、シャチホコガ科以下の各科について報告する。これは前報と同じ要領にて、筆者の旧報告を再検討して補正したものである。*印は既報の誤同定を修正するもの、×印は記録を削除するもの、○印は新たに記録を追加するものである。採集例の少ないものについては採集地名あるいは採集データを付記する。()内は現在の町名を示す。

シャチホコガ科 NOTODONTIDAE

1. *Tarsolepis japonica* Wileman & South
ギンモンズズメモドキ 妙高山.
2. *Stauropus fagi* (Linnaeus)
シャチホコガ 柏原.
3. *Neostauropus basalis* (Moore)
ヒメシャチホコ
4. *Cerura menciana* (Moore)
オオモクメシャチホコ 妙高山.
- × *Cerura felina* Butler
モクメシャチホコ
この記録は誤認と思われるので削除する。
5. *Furcula furcula* (Clerck)
ナカグロモクメシャチホコ 柏原.
6. *Syntypistis japonica* (Nakatomi)
アオシャチホコ 柏原, 妙高山.
- * 7. *Cnethodonta grisescens* Staudinger
バイバラシロシャチホコ 妙高山, 神楽(青垣町).
既報のシロシャチホコについては、氷ノ山の標本はあるが、丹波地方では未確認である。
8. *Harpyia umbrosa* (Staudinger)
ギンシャチホコ 柏原.
9. *Uropyia meticulodina* (Oberthür)
ムラサキシャチホコ
柏原, ♂, 25. V. 1954.
10. *Wilemanus bidentatus* (Wileman)

- モンクロギンシャチホコ 柏原, 妙高山.
11. *Fentonina ocypte* (Bremer)
ホソバシャチホコ
12. *Mesophalera sigmata* (Butler)
クロシタシャチホコ
13. *Disparia variegata* (Wileman)
ホソバネグロシャチホコ 柏原, 妙高山.
14. *Phalera angustipennis* Matsumura
ムクツマキシシャチホコ 柏原.
15. *Phalera assimilis* (Bremer & Grey)
ツマキシシャチホコ 妙高山.
16. *Phalera flavescens* (Bremer & Grey)
モンクロシャチホコ
17. *Hypodonta corticalis* Butler
カバイロモクメシャチホコ 柏原, 妙高山.
18. *Neopheosia fasciata* (Moore)
ヘリスジシャチホコ 柏原, 妙高山.
19. *Shaka atrovittatus* (Bremer)
クビワシャチホコ
20. *Lophocosma sarantuja* Schintlmeister & Kinoshita
クロスジシャチホコ 妙高山.
21. *Rabata cristata* (Butler)
セダカシャチホコ 妙高山.
22. *Rabata splendida* (Oberthür)
アオセダカシャチホコ 柏原, 妙高山.
23. *Torigea straminea* (Moore)
キシシャチホコ 柏原.
24. *Mimopydna pallida* (Butler)
ウスキシシャチホコ 柏原, 神楽.
25. *Peridea lativitta* (Wileman)
アカネシャチホコ 妙高山, ♂, 30. IV. 1955.
26. *Peridea oberthueri* (Staudinger)
ルリモンシャチホコ
27. *Peridea graeseri* (Staudinger)
イシダシャチホコ 妙高山, 神楽.

28. *Peridea aliena* (Staudinger)
ニトベシャチホコ 柏原, 妙高山.
29. *Pheosiopsis cinerea* (Butler)
スズキシヤチホコ
30. *Drymonia japonica* (Wileman)
コトビモンシャチホコ 柏原.
31. *Semidonta biloba* (Oberthür)
カエデシャチホコ (クヌギシャチホコ)
妙高山, 神楽.
32. *Epodonta lineata* (Oberthür)
ヤスジシャチホコ 妙高山, ♂, 28. VII. 1954.
33. *Phalerodonta manleyi* (Leech)
オオトビモンシャチホコ 柏原.
34. *Hexafrenum leucodera* (Staudinger)
ツマジロシャチホコ
35. *Ptilodon okanoi* (Inoue)
クロエグリシャチホコ
神楽, ♂, 25. VII. 1956.
36. *Lophontosia pryori* (Butler)
ブライヤエグリシャチホコ
37. *Spatialia doerriesi* Graeser
ウスイロギンモンシャチホコ
38. *Spatialia dives* Oberthür
ギンモンシャチホコ 妙高山.
39. *Pterostoma sinicum* Moore
オオエグリシャチホコ
40. *Rosama cinnamomea* Leech
ギンボシシャチホコ
神楽, ♂, 30. V. 1953; 妙高山, ♂, 29. V. 1954.
41. *Rosama ornata* (Oberthür)
トビギンボシシャチホコ 柏原.
42. *Gonoclostera timoniorum* (Bremer)
クワゴモドキシャチホコ 柏原, 神楽.
43. *Micromelalopha troglodyta* (Graeser)
ヒナシャチホコ 柏原, 神楽.
44. *Clostera anachoreta* (Denis & Schiffermüller)
ツマアカシャチホコ
45. *Clostera anastomosis* (Linnaeus)

セグロシャチホコ 柏原.

スズメガ科 SPHINGIDAE

1. *Agrius convolvuli* (Linnaeus)
エビガラスズメ
2. *Acherontia styx* Westwood
メンガタスズメ
3. *Meganoton scribae* (Austaut)
エゾシモフリズズメ 柏原, 妙高山.
4. *Psilogramma increta* (Walker)
シモフリズズメ
5. *Sphinx constricta* Butler
コエビガラスズメ 柏原, 妙高山.
6. *Sphinx caliginea* Butler
クロスズメ 柏原, 妙高山.
7. *Dolbina tancrei* Staudinger
サザナミスズメ
8. *Ambulyx schauffelbergeri* Bremer & Grey
モンホソバスズメ
所蔵している標本は次種であり、本種については再確認する必要がある。
- 9. *Ambulyx sericeipennis* Butler
アジアホソバスズメ 柏原, ♂, 21. V. 1955.
10. *Ambulyx ochracea* Butler
ホソバスズメ 柏原, 妙高山.
11. *Clanis bilineata* (Walker)
トビイロスズメ
12. *Marumba gaschkewitschii* (Bremer & Grey)
モモスズメ
13. *Marumba sperchius* (Ménétrières)
クチバスズメ
14. *Langia zenzeroides* Moore
オオシモフリズズメ 柏原.
15. *Callambulyx tatarinovii* (Bremer & Grey)
ウンモンズズメ
16. *Smerinthus planus* Walker
ウチスズメ
17. *Smerinthus tokyonis* Matsumura
コウチスズメ 柏原, 妙高山.
18. *Phillosphingia dissimilis* (Bremer)

エソスズメ 柏原, 妙高山, 神楽.

19. *Hemaris affinis* (Bremer)

クロスキバホウジャク 柏原, 神楽.

20. *Hemaris radians* (Walker)

スキバホウジャク 柏原, 神楽.

21. *Cephonodes hylas* (Linnaeus)

オオスカシバ

22. *Ampelophaga rubiginosa* Bremer & Grey

クルマスズメ

23. *Acosmeryx naga* (Moore)

ハネナガブドウスズメ

24. *Acosmeryx castanea* Rothschild & Jordan

ブドウスズメ

25. *Neogurelca himachala* (Butler)

ホシヒメホウジャク

26. *Macroglossum stellatarum* (Linnaeus)

ホウジャク

27. *Macroglossum bombylans* Boisduval

ヒメクロホウジャク 神楽.

28. *Macroglossum pyrrhosticta* Butler

ホシホウジャク

29. *Macroglossum saga* Butler

クロホウジャク 柏原.

30. *Deilephila elpenor* (Linnaeus)

ベニスズメ

31. *Theretra nessus* (Drury)

キイロスズメ

32. *Theretra japonica* (Boisduval)

コスズメ

33. *Theretra oldenlandiae* (Fabricius)

セスジスズメ

34. *Rhagastis mongoliana* (Butler)

ピロードスズメ

○35. *Rhagastis trilineata* Matsumura

ミスジピロードスズメ

柏原, ♂, 21. V. 1955.

ヤママユガ科 SATURNIIDAE

1. *Samia cyanthia* (Drury)

シンジュサン 柏原, 妙高山.

2. *Antheraea yamamai* (Guérin-Méneville)

ヤママユ

3. *Saturnia jonasii* (Butler)

ヒメヤママユ 柏原, 妙高山.

4. *Saturnia japonica* (Moore)

クスサン

5. *Rhodinia fugax* (Butler)

ウスタビガ

6. *Actias gnoma* (Butler)

オナガミズアオ 柏原, ♂♀, 23. IV. 1955.

7. *Actias artemis* (Bremer & Grey)

オオミズアオ 柏原, 妙高山.

8. *Aglia japonica* Leech

エゾヨツメ 柏原, 市島.

イボタガ科 BRAHMAEIDAE

1. *Brahmaea japonica* Butler

イボタガ 市島.

カイコガ科 BOMBYCIDAE

1. *Bombyx mandarina* (Moore)

クワコ 柏原, 神楽.

2. *Bombyx mori* (Linnaeus)

カイコ

3. *Prismosticta hyalinata* Butler

スカシサン

神楽(粟鹿山), ♂, 25. VII. 1956.

○ 4. *Oberthueria falcigera* (Butler)

オオクワゴモドキ

妙高山, ♂, 8. VII. 1960.

オビガ科 EUPTEROTIDAE

1. *Apha aequalis* (Felder)

オビガ

カレハガ科 LASIOCAMPIDAE

1. *Gastropacha orientalis* Sheljuzhko

カレハガ

2. *Odonestis pruni* (Linnaeus)

リンゴカレハ

3. *Malacosoma neustria* (Linnaeus)

オビカレハ

4. *Dendrolimus superans* (Butler)

ツガカレハ 柏原, 妙高山, 香良(氷上町).

5. *Dendrolimus spectabilis* (Butler)

マツカレハ

6. *Kunugia undans* (Walker)

クヌギカレハ

7. *Kunugia yamadai* Nagano

ヤマダカレハ 妙高山.

8. *Euthrix albomaculata* (Bremer)

タケカレハ

イカリモンガ科 CALLIDULIDAE

1. *Pterodecta felderi* (Bremer)

イカリモンガ 柏原, 神楽, 芦田(青垣町).

フタオガ科 EPIPLEMIDAE

1. *Epiplema plagifera* (Butler)

クロオビシロフタオ 妙高山.

2. *Epiplema moza* (Butler)

クロホシフタオ 柏原, 妙高山.

アゲハモドキガ科 EPICOPEIIDAE

1. *Epicopeia hainesii* Holland

アゲハモドキ 柏原, 神楽, 大路(春日町).

2. *Psychostrophia melanargia* Butler

キンモンガ 柏原, 妙高山, 竹田.

シャクガ科 GEOMETRIDAE

<フユシャク亜科 ALSOPHILINAE>

1. *Inurois membranaria* (Christoph)

クロテンフユシャク 妙高山.

2. *Inurois fletcheri* Inoue

ウスバフユシャク

氷上地方における冬尺蠖の調査は極めて不十分であって、さらに詳しい調査が必要である。

<アオシャク亜科 GEOMETRINAE>

3. *Pingasa alba* Swinhoe

オオシロアヤシャク 柏原.

4. *Pingasa aigner* Prout

ウスアオアヤシャク 神楽.

5. *Pachista superans* (Butler)

オオアヤシャク 妙高山, 神楽.

6. *Dindica virescens* (Butler)

ウスアオシャク 妙高山, 神楽.

7. *Agathia carissima* Butler

チズモンアオシャク 柏原, 妙高山.

8. *Agathia visenda* Butler

アシプトチズモンアオシャク 柏原.

9. *Aracima muscosa* Butler

アトヘリアオシャク 柏原, ♀, 19. VI. 1950.

10. *Timandromorpha enervata* Inoue

ノコバアオシャク

妙高山, ♂, 29. V. 1954 : ♂, 28. VII. 1954.

11. *Mixochlora vittata* (Moore)

ヒメカギバアオシャク 柏原.

12. *Tanaorhinus reciprocata* (Walker)

カギバアオシャク 柏原.

13. *Geometra dieckmanni* Graeser

カギシロスジアオシャク

14. *Geometra valida* Felder & Rogenhofer

クロスジアオシャク 柏原.

15. *Geometra glaucaria* Ménétrières

コシロオビアオシャク 柏原, 妙高山.

16. *Neohipparchus vallata* (Butler)

キマエアオシャク

17. *Eucyclodes infracta* (Wileman)

ヒメシロフアオシャク 柏原.

18. *Eucyclodes difficta* (Walker)

シロフアオシャク 柏原.

19. *Pelagodes subquadraria* Inoue

クスアオシャク 柏原.

20. *Jodis lactearia* (Linnaeus)

ナミガタウスキアオシャク 神楽.

21. *Jodis putata* (Linnaeus)

ヒメウスアオシャク 柏原, 神楽.

22. *Jodis praerupta* (Butler)

マルモンヒメアオシャク 柏原.

23. *Jodis argutaria* (Walker)

- ウスミズアオシャク 柏原.
24. *Jodis dentifascia* Warren
オオナミガタアオシャク 柏原
25. *Maxates ambigua* (Butler)
ツバメアオシャク
26. *Maxates fuscofrons* Inoue
ズグロツバメアオシャク 柏原.
27. *Maxates illitirata* (Walker)
ヒロバツバメアオシャク 柏原.
28. *Maxates protrusa* (Butler)
ヒメツバメアオシャク 柏原.
29. *Hemithea aestivaria* (Hübner)
キバラヒメアオシャク 柏原.
30. *Chlorissa oblitterata* (Walker)
コウスアオシャク 柏原.
31. *Chlorissa amphitritaria* (Oberthür)
ハラアカアオシャク 柏原.
32. *Chlorissa anadema* (Prout)
ホソバハラアカアオシャク
33. *Idioclora ussuriaria* (Bremer)
ナミスジコアオシャク 柏原, 神楽.
34. *Culpinia diffusa* (Walker)
アカアシアオシャク 柏原.
35. *Thalera rubrifimbria* Inoue
ハガタアオシャク 柏原, 妙高山.
36. *Comibaena procumbaria* (Pryer)
ヨツモンマエジロアオシャク 妙高山.
37. *Comibaena amoenaria* (Oberthür)
ヘリジロヨツメアオシャク 妙高山.
38. *Comibaena argentataria* (Leech)
ギンスジアオシャク
39. *Comibaena delicatior* (Warren)
クロモンアオシャク
40. *Thetidia albocostaria* (Bremer)
ヨツメアオシャク
41. *Hemistola veneta* (Butler)
コシロスジアオシャク 神楽.
- 42. *Hemistola tenuilinea* (Alphéraky)
ハガタキスジアオシャク
柏原, ♂, 19. VI. 1955.
43. *Comostola subtiliaria* (Bremer)
コヨツメアオシャク
- <ヒメシャク亜科 STERRHINAE>
44. *Dithecodes erasa* Warren
シロモンアオヒメシャク 妙高山, 神楽.
45. *Pylargosceles steganioides* (Butler)
フタナミトビヒメシャク
46. *Timandra reompta* (Prout)
ベニスジヒメシャク
47. *Timandra comptaria* Walker
コベニスジヒメシャク 柏原.
48. *Timandra apicirosea* (Prout)
フトベニスジヒメシャク 柏原, 妙高山.
49. *Somatina indicataria* (Walker)
ウンモンオオシロヒメシャク
50. *Problepsis diazoma* Prout
クロスジオオシロヒメシャク 柏原, 妙高山.
- 51. *Problepsis minuta* Inoue
コヒトツメオオシロヒメシャク
妙高山, ♂, 9. VII. 1954. 既知産地は多くない。近畿では未記録と思われる。
52. *Problepsis superans* (Butler)
ヒトツメオオシロヒメシャク 柏原.
53. *Scopula nigropunctata* (Hufnagel)
マエキヒメシャク
54. *Scopula modicaria* (Leech)
モントビヒメシャク 柏原.
55. *Scopula apicipunctata* (Christoph)
クロテンシロヒメシャク 柏原.
56. *Scopula confusa* (Butler)
ウスキトガリヒメシャク 柏原.
- * 57. *Scopula impersonata* (Walker)
ハイイロヒメシャク 柏原, ♂, 7. V. 1955.
既報のミスジハイイロヒメシャクは誤りである。
58. *Scopula emissaria* (Walker)
キトガリヒメシャク 柏原, ♀, 18. IX. 1952.
- × *Scopula asthena* Inoue
キスジシロヒメシャク

既報の記録を確認できないので削除する。

59. *Scopula superior* (Butler)
キナミシロヒメシャク 柏原.
60. *Scopula pudicaria* (Motschulsky)
クロスジシロヒメシャク 柏原.
- 61. *Scopula floslactata* (Haworth)
ヤスジマルバヒメシャク 柏原.
62. *Scopula semignobilis* Inoue
ウスサカハチヒメシャク 柏原.
63. *Scopula epiorrhoe* Prout
ギンバネヒメシャク
64. *Scopula ignobilis* (Warren)
ウスキクロテンヒメシャク
65. *Idaea muricata* (Hufnagel)
ベニヒメシャク
66. *Idaea nielsenii* (Hedemann)
オビベニヒメシャク 柏原, ♀, 23. VI. 1950.
67. *Idaea impexa* (Butler)
キオビベニヒメシャク 柏原.
68. *Idaea foedata* (Butler)
クロテントビヒメシャク 柏原.
- 69. *Idaea roseomarginaria* (Inoue)
シタベニヒメシャク 神楽, ♀, 25. VII. 1956.
- 70. *Idaea nudaria* (Christoph)
キヒメシャク 柏原, ♀, 16. VI. 1955.
71. *Idaea auricruda* (Butler)
ヨスジキヒメシャク 柏原.
72. *Idaea remissa* (Wileman)
ホソスジキヒメシャク 妙高山.
73. *Idaea biselata* (Hufnagel)
ウスキヒメシャク 柏原.
74. *Idaea invalida* (Butler)
オイワケヒメシャク 柏原, 篠ヶ峰.
75. *Idaea trisetata* (Prout)
ミジンキヒメシャク 柏原.
- 76. *Idaea neovalida* (Inoue)
チビキヒメシャク 柏原.
- <ナミシャク亜科 LARENTIINAE>
77. *Trichopteryx hemana* (Butler)
シタコバナナミシャク 柏原.

78. *Epilobophora obscuraria* (Leech)
アトスジグロナミシャク 柏原.
79. *Otoplecta frigida* (Butler)
クロフシロナミシャク
柏原, ♂, 13. IV. 1951.
80. *Naxidia maculata* (Butler)
ゴマダラシロナミシャク 妙高山, 神楽.
81. *Calige cruciplaga* (Walker)
ホシスジトガリナミシャク 柏原.
82. *Calige scutillimbata* Prout
ホソバトガリナミシャク 妙高山.
83. *Trichodezia kindermanni* (Bremer)
シラフシロオビナミシャク
神楽, ♂, 1. VI. 1951.
- × *Baptia tibiale* (Esper)
シロホソオビクロナミシャク
この記録については確認できない.
84. *Heterophleps fusca* (Butler)
ウスクモナミシャク 神楽.
85. *Heterophleps pallescens* (Warren)
ミツボシナミシャク 神楽, ♀, 22. VI. 1953.
86. *Heterophleps confusa* (Wileman)
コウスグモナミシャク 神楽.
87. *Typloptera bella* (Butler)
ホソバナミシャク
88. *Brabira artemidora* (Oberthür)
キリバネホソナミシャク 妙高山.
89. *Sauris nanaria* Leech
ヒゲブトナミシャク 柏原.
90. *Macrohastina azela* (Butler)
フタオモドキナミシャク
神楽, 2♂, 12. VII. 1953.
91. *Xanthorhoe saturata* (Guenée)
フトジマナミシャク
92. *Xanthorhoe hortensiarum* (Graeser)
フタトビスジナミシャク
93. *Xanthorhoe muscipala* (Christoph)
ツマグロナミシャク
94. *Orthonama obstipata* (Fabricius)
トビスジヒメナミシャク 柏原.

95. *Costaconvexa caespitaria* (Christoph)
ウスイロトビスジナミシャク
柏原, ♂, 7. VII. 1954 : ♀, 17. V. 1955 : ほか.
96. *Euphyia cineraria* (Butler)
ハコベナミシャク (ツマジロナミシャク)
97. *Amoebotricha grataria* (Leech)
ニッコウナミシャク 柏原, ♀, 4. XI. 1953.
98. *Earophila correlata* (Warren)
ミカヅキナミシャク 柏原, ♀, 13. IV. 1956.
99. *Microcalcarifera obscura* (Butler)
フタモンクロナミシャク 柏原.
100. *Telenomeuta punctimarginaria* (Leech)
テンツマナミシャク 妙高山, 神楽.
101. *Eucosmabraxas placida* (Butler)
キベリシロナミシャク 柏原.
102. *Eucosmabraxas evanescens* (Butler)
マルモンシロナミシャク 妙高山.
103. *Callygris compositata* (Guenée)
ナミガタシロナミシャク 柏原.
104. *Eulithis ledereri* (Bremer)
ウストビモンナミシャク 神楽.
105. *Eulithis convergenata* (Bremer)
ヨコジマナミシャク 妙高山.
106. *Gandaritis fixseni* (Bremer)
キマダラオオナミシャク
107. *Gandaritis agnes* (Butler)
キガシラオオナミシャク
108. *Lampropteryx minna* (Butler)
アトロナミシャク 柏原.
109. *Evecliptopera decurrens* (Moore)
セスジナミシャク
110. *Ecliptopera umbrosaria* (Motschulsky)
オオハガタナミシャク
111. *Eustroma japonicum* Inoue
キアメナミシャク 柏原, 神楽.
112. *Eustroma melancholicum* (Butler)
ハガタナミシャク 市島.
113. *Microlygris multistriata* (Moore)
シロホソスジナミシャク 香良 (氷上町).
114. *Lobogonodes erectaria* (Leech)
- キホソスジナミシャク 妙高山.
115. *Sibatania mactata* (Felder & Rogenhofer)
ビロードナミシャク
116. *Dysstroma citrata* (Linnaeus)
ツマキナカジロナミシャク 柏原, 妙高山.
117. *Pennithera comis* (Butler)
クロオビナミシャク 妙高山.
- 118. *Heterothera postalbida* (Willeman)
シロシタトビイロナミシャク 柏原, 妙高山.
119. *Xenortholitha propinquata* (Kollar)
フタクロテンナミシャク
120. *Operophtera relegata* Prout
クロオビフユナミシャク 柏原.
121. *Nothoporia mediolineata* (Prout)
ナカオビアキナミシャク 柏原.
122. *Zola terranea* (Butler)
トビスジトガリナミシャク 柏原, 竹田,
葛野 (氷上町).
123. *Hydrelia shioyana* (Matsumura)
チビヒメナミシャク 神楽, ♂, 12. VII. 1953.
124. *Hydrelia nisaria* (Christoph)
テンスジヒメナミシャク
神楽, ♀, 22. VI. 1953.
125. *Asthena nymphaeata* (Staudinger)
ムスジシロナミシャク 柏原.
126. *Asthena corculina* Butler
キムジシロナミシャク 妙高山.
127. *Asthena ochrifasciaria* Leech
フタマタシロナミシャク
篠ヶ峰, 26. VIII. 1952. (井上).
128. *Asthena octomaculata* Leech
キマダラシロナミシャク
神楽, 2♂, 12. VII. 1953 ; 柏原, ♀, 4. VI. 1954.
129. *Laciniodes unistripis* (Butler)
セグロナミシャク
130. *Gymnoscelis esakii* Inoue
ケブカチビナミシャク
妙高山, ♂, 28. VII. 1954. (Paratype).
131. *Chloroclystis v-ata* (Haworth)

- クロスジアオナミシャク 妙高山.
 132. *Chloroclystis rectangulata* (Linnaeus)
 リンゴアオナミシャク
 柏原, 16. VI. 1952. (井上).
 ○133. *Chloroclystis suspiciosa* Inoue
 テンスジアオナミシャク
 柏原, ♀, 16. VI. 1952. (Holotype); ♀, 13.
 VI. 1954.
 日本産蛾類大図鑑の中で新種記載された。
 (Cat. 2620. pl. 79:2). 既知標本は上記2頭
 だけで、これまで他産地の報告を見ていない。
 134. *Chloroclystis excisa* (Butler)
 ソトシロオビナミシャク 妙高山.
 135. *Echthrocollis minuta* (Butler)
 アオスジナミシャク 柏原.
 136. *Horisme stratata* (Wileman)
 トガリバナミシャク 柏原, ♀, 9. XI. 1956.
 137. *Melanthia procellata* (Denis & Schiffermüller)
 ナカジロナミシャク
 × *Eupithecia tantilloides* Inoue
 マダラカバスジナミシャク
 この記録については確認できないので削除す
 る。
 <エダシャク亜科 ENNOMINAE>
 138. *Naxa seriaria* (Motschulsky)
 ホシシャク 妙高山, ♀, 1. VII. 1951.
 139. *Abraxas flavisinuata* Warren
 スギタニシロエダシャク 妙高山.
 140. *Abraxas niphonibia* Wehrli
 ヒメマダラエダシャク 神楽.
 141. *Abraxas miranda* Butler
 ユウマダラエダシャク
 142. *Ligdia japonaria* Leech
 シロスジヒメエダシャク 神楽, 篠ヶ峰.
 143. *Peratophya hyalinata* (Kollar)
 クロフヒメエダシャク 柏原, 神楽.
 144. *Heterostegene hyriaria* Warren
 サザナミオビエダシャク
 145. *Lomographa simplicior* (Butler)
 クロズウスエダシャク
 146. *Lomographa bimaculata* (Fabricius)
 フタホシシロエダシャク
 147. *Lomographa temerata* (Denis & Schiffermüller)
 バラシロエダシャク
 148. *Lomographa subspersata* (Wehrli)
 ウスフタスジシロエダシャク 柏原.
 * 149. *Lomographa claripennis* Inoue
 オオフタスジシロエダシャク 妙高山.
 既報のウスオビシロエダシャクは誤同定で
 ある。
 150. *Ninodes splendens* (Butler)
 ウチムラサキヒメエダシャク
 151. *Myrteta angelica* Butler
 クロミスジシロエダシャク 柏原, 妙高山.
 152. *Orthocabera tinagmaria* (Guenée)
 ナミスジシロエダシャク 妙高山.
 153. *Cabera purus* (Butler)
 コスジシロエダシャク 柏原, 神楽.
 × *Cabera exanthemata* (Scopoli)
 ミスジコナフエダシャク
 この記録は誤認と思われるので削除する。
 154. *Parabapta clarissa* (Butler)
 ウスアオエダシャク
 155. *Rhynchobapta cervinaria* (Moore)
 フタスジオエダシャク
 神楽, ♀, 25. VII. 1956.
 156. *Plesiomorpha flaviceps* (Butler)
 マエキオエダシャク
 157. *Plesiomorpha punctilinearia* (Leech)
 モンオビオエダシャク 柏原.
 158. *Euchristophia cumulata* (Christoph)
 ウスオビヒメエダシャク 妙高山, 篠ヶ峰.
 159. *Synegia hadassa* (Butler)
 ハグルマエダシャク
 ○160. *Synegia limitatoides* Inoue
 スジハグルマエダシャク
 篠ヶ峰. (Paratype, 蛾類大図鑑).
 161. *Synegia esther* Butler

- クロハグルマエダシャク 妙高山.
 × *Synegia ichinosawana* (Matsumura)
 マルハグルマエダシャク
 この記録については確認できない。
162. *Ecpetelia albifrontaria* (Leech)
 シロズエダシャク 妙高山.
163. *Petelia rivulosa* (Butler)
 コトビスジエダシャク
 柏原, ♀, 19. VI. 1955.
- * 164. *Astygis chlororhynchos* (Wehrli)
 オオヨスジアカエダシャク 神楽.
 既報のヨスジアカエダシャクは誤同定である。
165. *Hypophyrra terrosa* Butler
 ウラキトガリエダシャク 神楽.
166. *Crypsicomete incertaria* (Leech)
 ツマキエダシャク
167. *Godonela defixaria* (Walker)
 フタテンオエダシャク
168. *Godonela hebesata* (Walker)
 ウスオエダシャク 柏原, 神楽.
- 169. *Godonela shanghaiensis* (Walker)
 シャンハイオエダシャク
 柏原, ♂, 19. VI. 1955.
170. *Oxymacaria normata* (Alphéraky)
 ウスキオエダシャク 柏原.
171. *Monocerotesa lutearia* (Leech)
 クロフキエダシャク
 妙高山, ♂, 6. IX. 1953.
172. *Krananda semihyalina* Moore
 スカシエダシャク 柏原.
173. *Krananda latimarginaria* (Leech)
 ツマジロエダシャク
174. *Tephрина vapulata* (Butler)
 ウスネズミエダシャク
 柏原, 22. V. 1955. (井上).
175. *Ectephрина semilutea* (Lederer)
 アカエダシャク 柏原, 19. IV. 1951. (井上).
176. *Luxiaria amasa* (Butler)
 トビカギバエダシャク
177. *Cystidia truncangulata* Wehrli
 ヒロオビトンボエダシャク
 柏原, ♂♀, 26. VI. 1951; 葛野(氷上町).
178. *Cystidia stratonice* (Stoll)
 トンボエダシャク
 本種の記録は再確認する必要がある。
179. *Cystidia couaggaria* (Guenée)
 ウメエダシャク
 本種の記録は再確認する必要がある。
180. *Culcula panterinaria* (Bremer & Grey)
 キオビゴマダラエダシャク
181. *Paraperonia giraffata* (Guenée)
 オオゴマダラエダシャク
182. *Antiperonia albinigrata* (Warren)
 ゴマダラシロエダシャク
183. *Pogonopygia nigrilabata* Warren
 クロフオオシロエダシャク
184. *Dilophodes elegans* (Butler)
 クロフシロエダシャク
185. *Metabraxas clerica* Butler
 オオシロエダシャク 神楽, 1. VII. 1954.
186. *Arichanna melanaria* (Linnaeus)
 キシタエダシャク
187. *Arichanna jaguararia* (Guenée)
 ヒョウモンエダシャク
188. *Jankowskia fuscaria* (Leech)
 チャノウモンエダシャク
189. *Apocleora rimosa* (Butler)
 クロクモエダシャク
190. *Cleora venustaria* (Leech)
 ソトシロモンエダシャク 妙高山. (井上).
191. *Cleora repulsaria* (Walker)
 フトスジエダシャク 柏原, 妙高山.
192. *Protoboarmia simplicaria* (Leech)
 オレクギエダシャク 柏原.
193. *Alcis angulifera* (Butler)
 ナカウスエダシャク
194. *Alcis jubata* (Thunberg)
 コケエダシャク 柏原, 16. VI. 1949. (井上).
195. *Rikiosatoa grisea* (Butler)

- フタヤマエダシャク
196. *Deileptenia ribeata* (Clerck)
マツオオエダシャク
197. *Pseuderannia lomozemia* (Prout)
ウスバキエダシャク 生郷(氷上町).
198. *Hypomecis roboraria* (Denis & Schiffermüller)
ハミスジエダシャク(アトフトオビエダシャク) 柏原, 妙高山.
199. *Hypomecis lunifera* (Butler)
オオバナミガタエダシャク 妙高山.
200. *Hypomecis definita* (Butler)
ナカシロオビエダシャク 神楽.
201. *Hypomecis punctinalis* (Scopoli)
ウスバミスジエダシャク
202. *Microcalicha sordida* (Butler)
シタクモエダシャク 妙高山.
203. *Phthonosema tendinosaria* (Bremer)
リンゴツノエダシャク 柏原.
204. *Phthonosema invenustaria* (Leech)
トビネオオエダシャク 神楽.
205. *Ophthalmitis irrorataria* (Bremer & Grey)
コヨツメエダシャク 妙高山, 篠ヶ峰.
206. *Ophthalmitis albosignaria* (Bremer & Grey)
ヨツメエダシャク 柏原, 妙高山.
207. *Ascotis selenaria* (Denis & Schiffermüller)
ヨモギエダシャク
208. *Cusiala stipitaria* (Oberthür)
セプトエダシャク
209. *Ectropis crepuscularia* (Denis & Schiffermüller)
フトフタオビエダシャク
210. *Ectropis obliqua* (Prout)
ウスジロエダシャク 神楽.
211. *Ectropis excellens* (Butler)
オオトビスジエダシャク
212. *Heterarmia dissimilis* (Staudinger)
トガリスジグロエダシャク
柏原, 4. VI. 1954; 23. V. 1955. (井上); 同,
♀, 16. VI. 1955; ♂, 28. V. 1957.
213. *Heterarmia charon* (Butler)
ナミガタエダシャク
214. *Phanerothyris sinearia* (Guenée)
ウスグロナミエダシャク
神楽, ♂, 22. VI. 1953; ♀, 3. VII. 1954.
215. *Racotis petrosa* (Butler)
ナミスジエダシャク 神楽, ♀, 13. VII. 1953.
216. *Aethalura nanaria* (Staudinger)
チビトビスジエダシャク 妙高山.
217. *Aethalura ignobilis* (Butler)
ハンノトビスジエダシャク 柏原.
218. *Satoblephara parvularia* (Leech)
ハラゲチビエダシャク 柏原, 妙高山.
219. *Hirasa paupera* (Butler)
クロスジハイイロエダシャク 妙高山, 神楽.
220. *Amblychia insueta* (Butler)
チャマドラエダシャク 神楽, 妙高山.
221. *Xandrames dholaria* Moore
ヒロオビオオエダシャク 神楽, 妙高山.
222. *Xandrames latiferaria* (Walker)
シロスジオオエダシャク(タイワンヒロオビオオエダシャク) 妙高山, 3♂, 28. VII. 1954.
223. *Duliophyle agitata* (Butler)
ヒロオビエダシャク 柏原, 妙高山.
224. *Duliophyle majuscularia* (Leech)
オオトビエダシャク 妙高山.
225. *Scionomia mendica* (Butler)
ソトキクロエダシャク 妙高山.
226. *Thinopteryx crocoptera* (Kollar)
キマダラツバメエダシャク
227. *Thinopteryx delectans* (Butler)
ミヤマツバメエダシャク
228. *Pachyerannia obliquaris* (Motschulsky)
クロスジフユエダシャク 柏原.
229. *Apochima juglansaria* (Graeser)
オカモトトゲエダシャク 大路(春日町).
230. *Apochima excavata* (Dyar)
クワトゲエダシャク
谷川(山南町), ♀, 3. IV. 1938; 大路, ♂, 13.

III. 1951.

231. *Megabiston plumosaria* (Leech)
チャエダシャク
232. *Biston robustus* Butler
トビモンオオエダシャク
233. *Amraica superans* (Butler)
ウスイロオオエダシャク
234. *Erebomorpha fulguraria* Walker
アミメオオエダシャク
粟鹿山(神楽), ♀, 13. VIII. 1953.
235. *Pachyligia dolosa* Butler
アトジロエダシャク 柏原.
236. *Golotois pennaria* (Linnaeus)
カバエダシャク 柏原.
237. *Planociampa antipala* Prout
ヒロバトガリエダシャク 柏原.
238. *Angerona nigrisparsa* Butler
ゴマフキエダシャク
239. *Bizia aexaria* Walker
ツマトビキエダシャク
240. *Exangerona prattaria* (Leech)
オイワケキエダシャク
妙高山, ♂, 13. VI. 1953; 柏原, ♀, 5. VI. 1954.
241. *Phthonandria atrilineata* (Butler)
クワエダシャク 神楽.
242. *Menophra senilis* (Butler)
ウスクモエダシャク
243. *Chariaspilates formosaria* (Eversmann)
ギンスジエダシャク 柏原.
244. *Epholca arenosa* (Butler)
サラサエダシャク 神楽.
245. *Proteostrenia leda* (Butler)
シロモンクロエダシャク
神楽, ♀, 29. VI. 1952.
246. *Scardamia aurantiacaria* Bremer
ハスオビキエダシャク
妙高山, 27. VII. 1953. (井上).
247. *Nothomiza formosa* (Butler)
マエキトビエダシャク
248. *Acrodontis fumosa* (Prout)
- オオノコメエダシャク 柏原.
249. *Odontopera arida* (Butler)
エグリツマエダシャク
250. *Cotta incongruaria* (Walker)
ヨスジキエダシャク
柏原, ♂♀, 23. VI. 1955.
251. *Xerodes albonotaria* (Bremer)
モンシロツマキリエダシャク
252. *Xerodes rufescentaria* Motschulsky
ミスジツマキリエダシャク
253. *Auaxa sulphurea* (Butler)
キエダシャク
254. *Pareclipsis gracilis* (Butler)
ツマキリウスキエダシャク
255. *Selenia tetralunaria* (Hufnagel)
ムラサキエダシャク 神楽, ♂, 25. VIII. 1951.
256. *Garaeus specularis* Moore
キバラエダシャク
257. *Xyloscia subspersata* (Felder & Rogenhofer)
トガリエダシャク 柏原.
258. *Endropiodes abjectus* (Butler)
ツマキリエダシャク 柏原.
- 259. *Endropiodes indictinaria* (Bremer)
モミジツマキリエダシャク
妙高山, ♂, 27. VII. 1953.
260. *Plagodis dolabraria* (Linnaeus)
ナカキエダシャク 妙高山.
261. *Plagodis pulveraria* (Linnaeus)
コナフキエダシャク
262. *Achrosis paupera* (Butler)
フタマエホシエダシャク 柏原, 妙高山,
神楽.
263. *Heterolocha stulta* (Butler)
ベニスジエダシャク 神楽.
264. *Heterolocha aristonaria* (Walker)
ウラベニエダシャク
265. *Parepione grata* (Butler)
ウラモンアカエダシャク 柏原.
266. *Cepphis advenaria* (Hübner)
アトボシエダシャク 柏原, 神楽.

267. *Spilopera debilis* (Butler)
ツマトビシロエダシャク 柏原, 神楽.
268. *Corymica pryori* (Butler)
ウコンエダシャク
269. *Ourapteryx nivea* Butler
ウスキツバメエダシャク
270. *Ourapteryx obtusicauda* (Warren)
コガタツバメエダシャク
271. *Ourapteryx maculicaudaria* (Motschulsky)
シロツバメエダシャク

トガリバガ科 THYATIRIDAE

1. *Thyatira batis* (Linnaeus)
モントガリバ
2. *Habrosyne pyritoides* (Hufnagel)
アヤトガリバ 柏原, 神楽.
3. *Tethea ampliata* (Butler)
オオバトガリバ 柏原.
4. *Tethea octogesima* (Butler)
ホソトガリバ 柏原.
5. *Tethea consimilis* (Warren)
オオマエベントガリバ 妙高山.
6. *Neoploca archipennis* (Butler)
マユミトガリバ 柏原.

オオカギバガ科 CYCLIDIIDAE

1. *Cyclidia substigmatica* (Hübner)
オオカギバ 神楽.
2. *Mimozethes argentilinearia* (Leech)
ギンスジカギバ(ギンスジフタオ)
柏原, 神楽.

カギバガ科 DREPANIDAE

1. *Agnidra scabiosa* (Butler)
マエキカギバ
2. *Microblepsis manleyi* (Leech)
マンレイカギバ 柏原.
3. *Pseudalbara parvula* (Leech)
ヒメハイイロカギバ 柏原.
4. *Tridrepana crocea* (Leech)

- ウコンカギバ
5. *Callidrepana patrana* (Moore)
ギンモンカギバ
6. *Callidrepana palleola* (Motschulsky)
ウスイロカギバ
7. *Ditrigona virgo* (Butler)
フタテンシロカギバ 神楽.
8. *Deroca inconclusa* (Walker)
ホシベッコウカギバ
神楽, ♂, 11. VIII. 1953 ; ♀, 3. X. 1953.
9. *Auzata superba* (Butler)
ヒトツメカギバ
10. *Macrocilix mysticata* (Walker)
ウスギヌカギバ
11. *Macrocilix maia* (Leech)
モンウスギヌカギバ 柏原, 妙高山.
12. *Cilix filipjevi* Kardakoff
ナカモンカギバ
妙高山, 30. IV. 1955. (井上).
13. *Macrauzata maxima* Inoue
スカシカギバ 妙高山.
14. *Oreta pulchripes* Butler
アシベニカギバ
15. *Oreta turpis* Butler
クロスジカギバ
16. *Hypsomadius insignis* Butler
アカウラカギバ 柏原.

以上、旧報告を再検討して、誤同定を修正したもの4種、記録を削除するもの6種、新たに記録を加えたもの14種である。

なお、採集データに(井上)を付したものは、その標本を井上 寛氏に送り同定を受けたものである。

(YAMAMOTO YOSHIMARU 大阪府池田市渋谷2-2-20)

兵庫県産蝶類分布資料(8)

—ミドリシジミ族 3種の記録—

(ヒサマツミドリシジミ・アイノミドリシジミ・メスアカミドリシジミ)

広畑政巳・近藤伸一

はじめに

前回に引き続きミドリシジミ族3種(ヒサマツミドリシジミ・アイノミドリシジミ・メスアカミドリシジミ)の分布状況について報告する。いずれも山地性のチョウで、食餌植物は県下全域に分布するにも関わらず、生息範囲は西播磨、但馬地域に限定され、特にヒサマツミドリシジミは生息環境が激減し、絶滅の危険が増大している(兵庫県版レッドデータブック Bランク)。

近年まとまった県内の分布記録がないため、記録を各産地1例ずつをあげて、気付いたことを付記した。過去に報告されている採集記録から分布図を作成したが、場所が特定出来ない箇所は分布図と垂直分布表から省いている。本資料以外にも産地は多くあると思われる、特に近年の採卵技術の向上に伴い、かなりの採集記録が埋もれたままになっているものと思われる。本稿は今後の調査の基礎資料としてご活用いただき不備を補っていただきたい。

本稿を草するにあたり、次の方々には採集記録をご提供いただき、産地の状況等をご教示いただいた。ここに記してお礼申し上げる。

五十嵐亘弘 石井為久 岩村 巖 木下賢司
黒田 収 佐々木薫 大東康人 高嶋 明
高田忠彦 永嵜嘉之 春井博文

1 ヒサマツミドリシジミ

(1) 分布の状況

ウラジロガシを食樹として、本州中部から南西部、四国、九州の限られた地区に分布している。県下の分布は図1のとおりウラジロガシの多い西播磨地域北部から但馬地区にかけて広く点在して

いるが、生息が確認された場所は少なく、いずれの場所でも生息地は局限される。竹野町小丸が現在確認されている北限で、宍粟郡山崎町梯が南限である。西播磨から但馬にかけては、ウラジロガシの成育する場所は多く、今後も新たな産地が見つかるものと思われる。県南東部から淡路にかけてもウラジロガシは広く分布するが、ヒサマツミドリシジミの生息は確認されていない。

(2) 生息環境の現況

ウラジロガシにミズナラやコナラなどが混交する雑木林を生息地とし、溪流に沿った林に生息場所が多い。採集記録の標高は表1のように100mから1,000mを越える場所までであるが、1000mを越えるのは関宮町須賀ノ山や温泉町小ズッコにおける成虫の採集記録で、卵が採集された標高は700m付近が最高である。これは成虫が発生地を離れ、高標高に移動するためと思われる。低標高地(200m以下)の産地は県北部の豊岡市、城崎郡に限定され、南部では山崎町梯(250m付近)が一番標高の低い生息地と思われる。ヒサマツミドリシジミ生息する低標高の丘陵地は開発が進み、その他の2次林も近年針葉樹の植林地に代わり、生息地は局限され、産地及び個体数は年々減少している。

(3) 採集記録

大河内町淵	1卵	1986	五十嵐亘弘
波賀町音水	3卵	6-IV-1977	高田・井出 1)
” 原	6卵	22-X-1983	佐々木薫 29)
一宮町大路	15卵	20-III-1982	佐々木薫 29)
” 志倉	14卵	7-III-1982	佐々木薫 29)
” 樺ノ木	28卵	28-III-1982	佐々木薫 29)
” 阿舍利	18卵	4-XII-1982	佐々木薫 29)

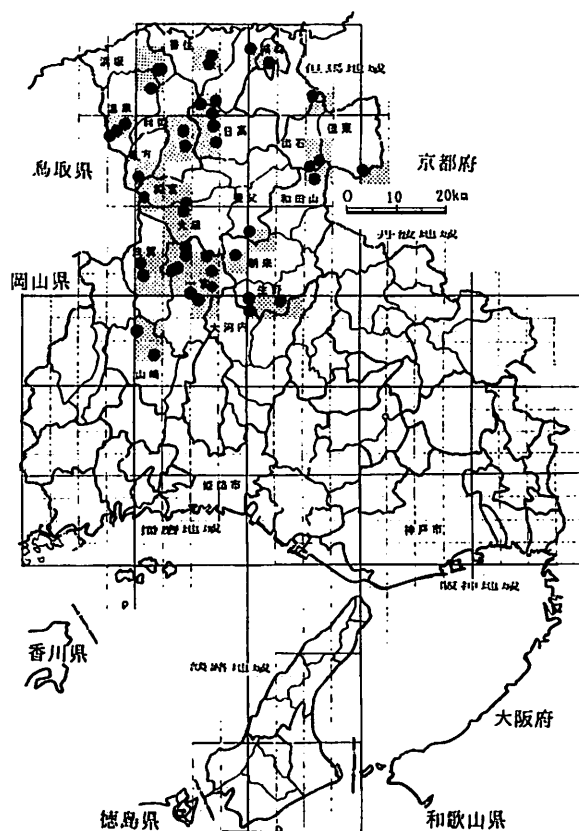
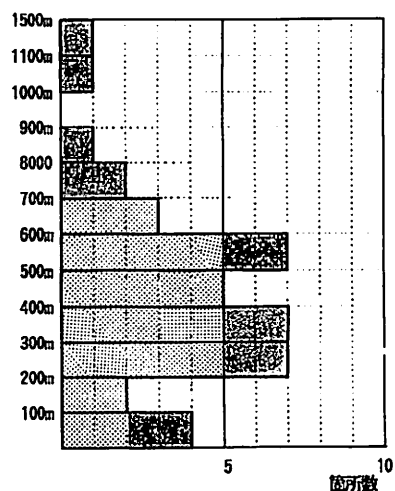


図1 ヒサマツミドリシジミの県内分布



注 □ は卵採集記録 ■ は成虫採集記録

表1 ヒサマツミドリシジミの垂直分布

一宮町富士野	3卵	17-X-1977	高田忠彦	1)
" 溝谷	20卵	11-XI-1983	近藤伸一	
" 福知	2卵	3-XI-1983	高嶋 明	
" 黒原	17卵	18-III-1979	八木 弘	
" 草木	13卵	24-II-1977	川崎悟郎	29)
" 福野	12卵	24-II-1977	川崎悟郎	29)
山崎町上ノ上				30)
" 梯				30)
豊岡市奥野	5卵	16-X-1977	高田忠彦	1)
城崎町来日	8卵	12-X-1977	高田忠彦	1)
" 大師山	3♂	17-VI-1982	福井丈嗣	16)
日高町三川山	1♂	28-VI-1987	田岡健一郎	7)
" 金屋	7卵	14-III-1976	若林・高田	1)
" 神鍋				8)
" 名色林道	1♂1♀	27-VI-1978	木下賢司	16)
竹野町水上	1♂1♀	1-VII-1985	浜 祥明	4)
" 小丸	1♂	26-VI-1978	井出敏晴	1)
香住町大梶	4卵	21-XI-1976	高田忠彦	1)
" 佐津	1♀	24-IX-1984	鳥越康数	34)
出石町奥山	6卵	16-X-1977	高田忠彦	1)
" 東床ノ尾山	1♂	22-VII-1976	谷角素彦	19)
但東町小坂	6卵	22-X-1977	高田忠彦	1)
温泉町拾尾	8卵	27-XI-1977	高田忠彦	1)
" 小ツッコ	1♀	8-VII-1985	谷角・黒井	6)
" 花口	1幼虫	19-V-1985	黒井和之	35)
美方町熱田	12卵	13-III-1976	高田・井出	1)
浜坂町久斗山	6卵	10-X-1977	高田忠彦	1)
" 本谷	1♂	25-VI-1993	永幡嘉之	10)
村岡町村岡	10卵	29-XI-1977	高田忠彦	1)
" 耀山	1♂	3-VII-1983	黒井和之	16)
生野町栃原	2卵	-I-1984	高嶋 明	
" 白口		-I-1984	高嶋 明	
朝来町小田路		-I-1984	高嶋 明	
" 神子畑	10卵	23-X-1982	広畑政巳	
和田山町糸井溪谷	6卵	3-VI-1977	高田・井出	1)
養父町野谷	2卵	5-III-1978	高田忠彦	1)
関宮町須賀ノ山	1♂	24-VII-1977	福田洋一	1)
" 杉ヶ沢高原	1♀	1-VII-1984	壘谷 健	7)
大屋町天滝	7卵	31-III-1977	高田・井出	1)

2 アイノミドリシジミ

(1) 分布の状況

食樹であるミズナラ、コナラの分布に併せて、北海道、本州、九州に分布する。

ミズナラ、コナラは県下各地に分布するが、県内のアイノミドリシジミの分布は、西播磨及び但馬の西部山地を中心に、内陸の比較的高標高地に限られる。城崎郡香住町三川が現在確認されている北限で、宍粟郡山崎町上ノ上が南限である。但馬の東部地域での生息は確認されていないが、床ノ尾山塊や糸井溪谷、青倉山塊などアイノミドリシジミの生息に適した環境はまだまだ残っており、今後の調査を期待したい。

(2) 生息環境の現況

ミズナラやコナラなどが多い溪流沿いの雑木林を主な生息地としている。生息地の標高は表2のように100mから1000mを越える場所まで見られる。成虫は1,000mを越える関宮町須賀ノ山や温泉町小ズッコでも採集されているが、卵は800m以下の場所で採集され、400m～700m付近が分布の中心のようである。低標高地の産地は県北部の香住町三川(200m付近)であるが、南部では山崎町上ノ上(320m付近)が現在確認されている一番標高の低い生息地である。

(3) 採集記録

佐用町日名倉山				31)
山崎町上ノ上				30)
一宮町福知	1卵	13-III-1977	高田忠彦	1)
" 公文	2卵	24-XII-1983	佐々木薫	
" 樫ノ木林道				26)
波賀町道谷	3卵	15-IV-1978	高田・井出	1)
日高町金屋	3卵	9-X-1977	高田・井出	1)
" 三川山	1♂	16-VI-1991		9)
" 名色林道	1♂	1-VII-1978	木下賢司	16)
竹野町水山		1-VII-1985	浜 祥明	4)
香住町三川	5卵	11-IV-1977	高田・井出	1)
" 三川山	4♂1♀	29-VI-1991		3)

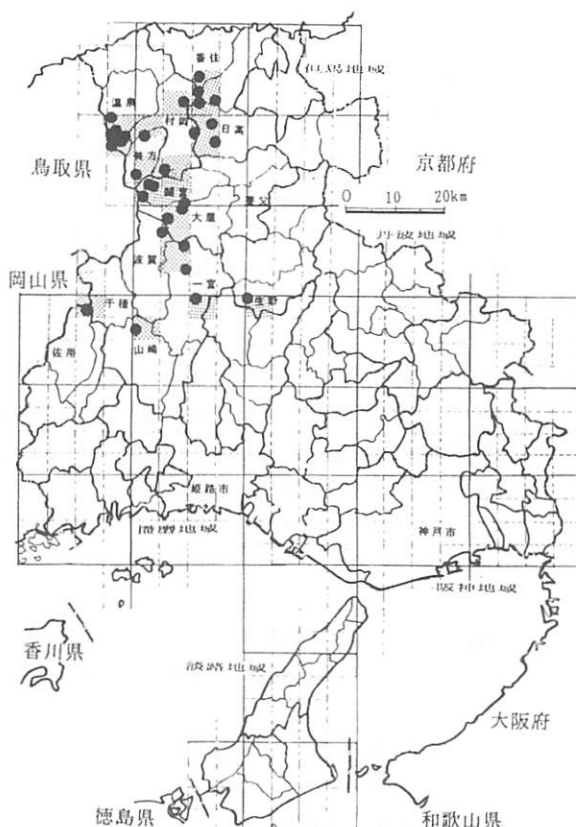


図2 アイノミドリシジミの県内分布

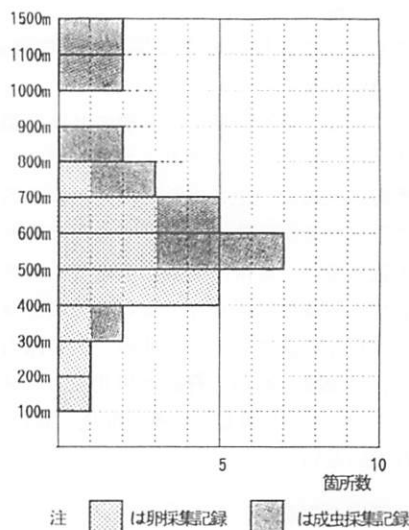


表2 アイノミドリシジミの垂直分布

温泉町海上	6卵	30-X-1977	高田・井出	1)
" 肥前畑	3卵	30-X-1977	高田・井出	1)
" 上山高原	1♀	28-VI-1991	永幡嘉之	5)
" 小ツッコ	2♂	29-VI-1991	永幡嘉之	5)
" 菅原	2卵	9-IV-1978	佐々木薫	
" 扇ノ山				26)
美方町熱田	4卵	13-III-1976	高田・井出	1)
" 小代スキー場	2卵	-XII-1977	小林健介	1)
美方町善滝	2卵	-XII-1977	小林健介	1)
村岡町小城	数卵	4-XII-1983	広畑政巳	18)
" 大笹	1♀	30-VI-1984	福井丈嗣	16)
" 蘇武岳山頂	2♀	25-VI-1983	前平照雄	16)
生野町栃原	1♂	9-VII-1979	近藤伸一	32)
大屋町横行	2卵	16-XII-1979	近藤伸一	
" 天滝	1♀	4-VII-1970	木下賢司	16)
" 杉ヶ沢				28)
関宮町須賀ノ山	2♂	3-VII-1977	高田・井出	1)
" 稲定	3♂	14-VII-1991	永幡嘉之	32)
" 大久保				26)
" 杉ヶ沢高原	2♂	27-VI-1977	高田・井出	1)

3 メスアカミドリシジミ

(1) 分布の状況

食樹であるサクラ類の分布に併せて、北海道、本州、九州に分布する。

県内では前記2種と同様に、食樹のサクラ類は県下全域に分布するがメスアカミドリシジミの分布は西播磨、但馬の山地を中心に内陸の比較的高標高地に限られるが、前2種よりも分布の範囲は広く個体数も多い。県南部の低標高地にも産地は点在するが、個体数は極めて少ない。城崎郡城崎町来日岳が現在確認されている北限で、姫路市林田町六九谷が南限である。丹波地域北部にもメスアカミドリシジミが生息している可能性は高いが、確認されていない。

(2) 生息環境の現況

生息環境も前記2種と同様に溪流沿いの雑木林

を主な生息地としているが、山腹斜面や道路に面したサクラ類からもよく卵が見つかる。生息地の標高は表3のように100mから1000mを越える場所まで見られるが、卵は100m~700m付近で多くみられるが、成虫は400m~800m付近の記録が多い。福崎町田口、姫路市林田町(100m付近)が標高の低い生息地と思われる。

(3) 採集記録

加美町三国岳				26)
姫路市林田町六九谷	1卵		尾崎 勇	25)
夢前町雪彦山	1幼虫	3-V-1980	広畑政巳	
福崎町田口	3卵	4-X-1984	広畑政巳	24)
神崎町根宇野				26)
" 作畑新田	2卵	-I-1997	広畑政巳	
" 越知川上流	13卵	19-III-1979	石井為久	21)
大河内町川上(深山)	2♂	17-VI-1973	広畑政巳	
" 砥峰				26)
" 峰山高原	3幼虫	6-V-1979	近藤伸一	
" 太田池	5卵	23-IX-1976	広畑政巳	
山崎町 梯	25卵	17-I-1982	広畑政巳	
" 上ノ上				30)
" 上ノ下	8卵	19-I-1976	高田・井出	1)
" 筏	4♂	7-VI-1964	岩村 巖	22)
" 与位	8卵	14-I-1979	岩村 巖	22)
" 河原山国有林	21卵	7-I-1980	岩村 巖	22)
安富町大河弁獄	1卵	27-III-1977	広畑政巳	1)
波賀町赤西溪谷	5卵	21-III-1977	白井祐一	1)
" 原不動滝	3卵	3-XI-1994		13)
" 東山高原	3卵	2-XII-1979	岩村 巖	27)
" 戸倉			岩村 巖	27)
一宮町下千町	42卵	12-II-1979	岩村 巖	27)
" 太谷	8卵	5-I-1980	岩村 巖	27)
" 東河内	3卵	2-XII-1979	岩村 巖	27)
" 伊和	1卵	2-XII-1979	岩村 巖	27)
" 草木	11卵	1-XII-1979	佐々木薫	27)
" 百千家滝				26)
" 黒原	18卵	18-III-1978	八木 弘	27)
" 福知溪谷	1卵	22-II-1984	広畑政巳	

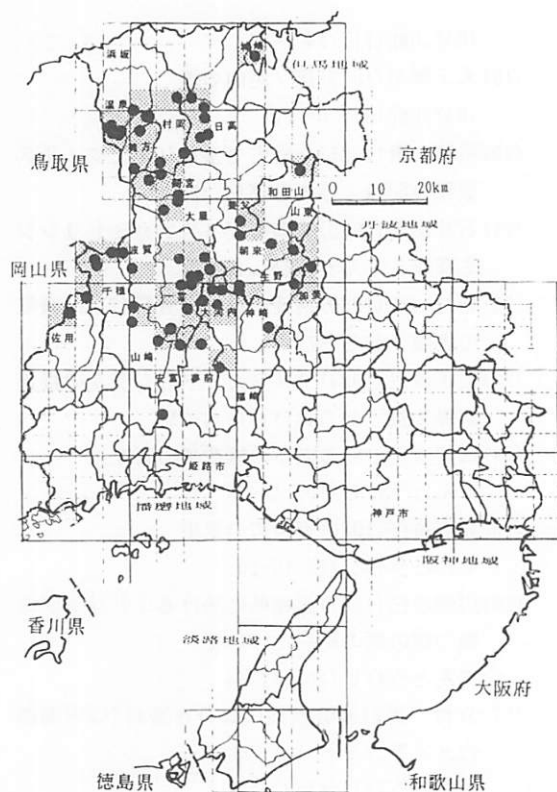


図3 メスアカミドリシジミの県内分布

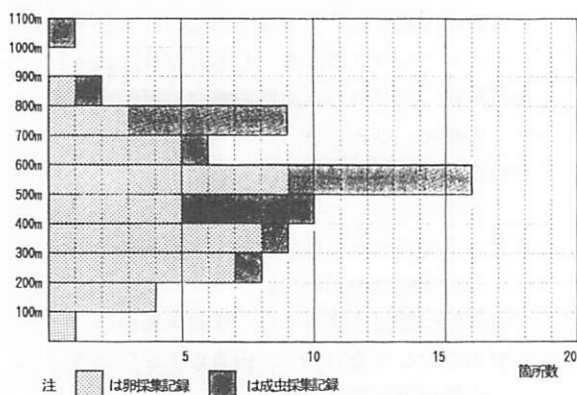


表3 メスアカミドリシジミの垂直分布

一宮町福中 5♂7♀羽化 5-V-1980 尾崎 勇 20)
 一宮町公文 49卵 23-X-1983 勝屋 潤 2)
 千種町三室山 26)

千種町木地山 12卵 29-X-1977 高田・小林 1)
 " 天児屋 4卵 28-X I-1984 広畑政巳 24)
 佐用町日名倉山 9卵 29-X-1977 高田忠彦 1)
 " 上石井 3卵 27-XI-1983 広畑政巳 23)
 城崎町来日岳 11卵 9-XII-1995 梁瀬 守
 日高町金屋 10卵 9-X-1977 高田忠彦 1)
 " 三川山 1♂ 26-VI-1994 11)
 " 稲葉 9幼虫 24-IV-1994 大東康人
 " 神鍋 29卵 23-X-1994 12)
 " 名色林道 2♂ 27-VI-1978 木下賢司 16)
 " 金谷 2♂ 7-VI-1982 前平照雄 16)
 温泉町小ツッコ 1♂ 29-VI-1991 永幡嘉之 5)
 温泉町海上 3卵 30-X-1977 高田・井出 1)
 " 菅原 1♂ 4-VII-1982 黒井和之 16)
 " 上山高原 2♂ 26-VII-1983 黒井和之 16)
 " 肥前畑 1♂ 10-VII-1983 黒井和之 16)
 " 霧ヶ滝 1♂ 26-VI-1992 永幡嘉之 32)
 " 美原 1♀ 11-VII-1982 黒井和之 16)
 美方町熱田 2幼虫 10-IV-1977 高田・井出 1)
 " 小代スキー場 20-IV-1981 加野 17)
 " 秋岡小代溪谷 102卵 7-X-1992 吉富章雄 33)
 村岡町熊波 1♀ 2-VII-1994 小林一彦 32)
 " 作山 4卵 20-XI-1977 高田忠彦 1)
 " 大笹 1♂ 3-VII-1984 木下賢司 16)
 " 祖岡 1♀ 11-VII-1982 黒井和之 16)
 " 小城 3♂ 20-VI-1993 黒井和之 15)
 関宮町別宮 3幼虫 23-IV-1978 高田・井出 1)
 " 杉ヶ沢 1♂ 26-VI-1977 広畑政巳
 " 福定 1♂ 14-VII-1991 永幡嘉之 32)
 大屋町天滝 8卵 31-III-1977 高田・井出 1)
 " 横河 佐々木薫
 養父町野谷 2卵 11-XII-1977 福原洋一 1)
 和田山町糸井溪谷 10卵 6-XI-1994 13)
 朝来町奥多々良木 2卵 10-X-1976 梶谷 徹 1)
 " 佐中 2卵 23-X-1982 広畑政巳
 山東町与布土幼虫前蛹 15-III-1984 広畑政巳 18)
 生野町黒川 1卵 24-III-1985 近藤伸一
 " 栃原 2幼虫 30-IV-1979 近藤伸一

<参考文献>

- (1) 高田忠彦 井手敏晴(1978)兵庫県産蝶類調査報告 MDKニュース(28)79:27~35
- (2) 勝屋 潤(1984)兵庫県ゼフィルス採卵紀行(1) きべりはむし12(1):15-19
- (3) 蝶研出版編集部(1991)フィールド速報 蝶研フィールド6(8):20
- (4) 浜 祥明(1988)ヒサマツミドリシジミの吸水とブナ林で採集した♀について 蝶研フィールド3(5):41
- (5) 永幡嘉之(1992)夏の訪れー兵庫の尾根・奥但馬にて 因幡のむし(27):50~53
- (6) 谷角素彦・黒井和之(1986)ブナ林で採集目撃したヒサマツミドリシジミについて 蝶研フィールド1(2):28
- (7) 京都大学蝶類研究会(1987)日本産蝶類239種の記録(上)SPINDA(2):2~40
- (8) 蝶研出版編集部(1987)新作ポイント地図リスト 蝶研サロン(3):6
- (9) 蝶研出版編集部(1991)1991年蝶類採集情報 蝶研サロン(52):23
- (10) 永幡嘉之(1994)浜坂町九斗山のゼフィルスの記録 IRATSUME(18):43
- (11) 蝶研出版編集部(1994)1994年蝶類採集情報 蝶研サロン(88):9
- (12) 蝶研出版編集部(1994)1994年蝶類採集情報 蝶研サロン(92):124
- (13) 蝶研出版編集部(1994)1994年蝶類採集情報 蝶研サロン(93):22
- (14) 蝶研出版編集部(1994)1994年蝶類採集情報 蝶研サロン(94):24-26
- (15) 黒井和之(1995)但馬の蝶分布資料シジミチョウ科ミドリシジミ族(その2) IRATSUME(19):38~49
- (16) 木下賢司・前平照雄・福井丈嗣(1986)但馬地域の蝶類目録 IRATSUME(10):55~95
- (17) 島田真輔(1982)美方町の蝶 IRATSUME(6):25~29
- (18) 広畑政巳(1987)但馬の蝶雑記 IRATSUME(11):24~26
- (19) 木下賢司(1979)床ノ尾山の蝶 IRATSUME(3):20~32
- (20) 尾崎 勇(1982)一宮町で採集したゼフィルス数種の記録 ひろおび(6):38
- (21) 石井為久(1980)神崎町でメスアカミドリシジミ採卵 てんとうむし(6):24
- (22) 岩村 巖(1980)西播の蝶分布資料(7) 山崎町の蝶類 ひろおび(5):5
- (23) 広畑政巳(1984)メスアカミドリシジミの採集記録2例 ひろおび(7):14-15
- (24) 広畑政巳(1987)県下の蝶数種の新産地 てんとうむし(10):10
- (25) 相坂耕作(1980)姫路市の昆虫 てんとうむし(6):10-20
- (26) 広畑政巳(1987)兵庫県に於けるミドリシジミ類 3種の雌の斑紋について てんとうむし(10):62-64
- (27) 岩村 巖(1980)西播の蝶分布資料(8)宍粟郡のメスアカミドリシジミ てんとうむし(6):21-22
- (28) 蝶研出版編集部(1989)スーパー採卵術 蝶研出版(茨木市)
- (29) 佐々木薫(1984)兵庫県南部におけるヒサマツミドリシジミの分布 ひろおび(7):46-47
- (30) 尾崎 勇(1984)兵庫県の蝶(2)掛保川水系の蝶相 ひろおび(7):16~22
- (31) 山本広一(1971)兵庫県の蝶相 月刊むし(3):2~10
- (32) 木下賢司ほか(1996)但馬の蝶類目録Ⅱ IRATSUME(20):66~86
- (33) 蝶類年鑑出版部(1997) 蝶類年鑑1995
- (34) 山陰むしの会(1994) 山陰のチョウたち 山陰中央新報社 松江
- (35) 黒井和之(1986) IRATSUME(10):42
- (HIROHATA MASAMI 姫路市白鳥台3丁目11-8)
- (KONDOH SHINICHI 神戸市西区岩岡町岩岡619-57)

播磨の昆虫 ゴキブリ分布資料

播磨の昆虫分布資料④

相坂 耕作

はじめに

ゴキブリは脂ぎった体をもち、不潔なイメージがあるため好感がもたれない昆虫といえる。そのため、いわゆるアマチュアでは、採集や研究をする人はほとんど見当たらないのが現状である。しかし播磨地方にはアース製菓という害虫に関する研究が進んだ会社があり、比較的ほかの地方よりゴキブリの分布や生態の研究が進んでいるとおもわれる。ゴキブリ類は古くは直翅目中の1科として、また一時はカマキリ類と合して1亜目として知られていた。最近では独立しゴキブリ目として分類されている。わずかなデータであるが、今後の生息状況を知るための参考として一筆記してみた。

播磨のゴキブリ・分布種

- 1) ワモンゴキブリ *Periplaneta americana*
- 2) クロゴキブリ *Periplaneta fuliginosa*
- 3) ヤマトゴキブリ *Periplaneta japonica*
- 4) ヒメクロゴキブリ *Chorisoneura nigra*
- 5) ツチゴキブリ *Margattea kumamotonis kumamotonis*
- 6) キスジゴキブリ *Symploce striata striata*
- 7) チャバネゴキブリ *Blattella germanica*
- 8) モリチャバネゴキブリ *Blattella nipponica*
- 9) サツマゴキブリ *Opisthoptera orientalis*
- 10) オオゴキブリ *Panesthia angustipennis spadica*

今後発見可能な種

近畿地方には次の5種類のゴキブリが記録されている。いずれも分布可能な種であり、今後の調査により発見される可能性がある。

- ・クロモンチビゴキブリ *Anaplecta japonica*
大阪府下で見つかった。
- ・ヨウランゴキブリ *Imblattella orchidae*
大阪府下で見つかった。
- ・ウスヒラタゴキブリ *Onychostylus pallidulus*
大阪府下で見つかった。

- ・キョウトゴキブリ *Asiablatta kyotensis*

大阪府下、京都府下、滋賀県下で見つかった。

- ・ウルシゴキブリ *Periplaneta japonica*

和歌山県下で見つかった。

播磨のゴキブリ分布種解説

- 1) ワモンゴキブリ *Periplaneta americana*

世界共通種であり、日本では暖かい地方に棲んでいる。赤穂市にあるアース製菓では大量に飼育、研究している。一時神戸市にも定着したという。

- 2) クロゴキブリ *Periplaneta fuliginosa*

おなじみの家庭にいるゴキブリ。

〈採集例〉

- 1♀ 10-VII-1983 姫路市東山 Col. 家永善文
1♂ 30-IX-1990 揖保郡御津町室津 Col. 相坂耕作
1♂ 25-XI-1990 姫路市飾磨区入船 Col. 相坂耕作

- 3) ヤマトゴキブリ *Periplaneta japonica*

播磨地方ではほとんど家庭で見られない。佐用郡で見られるが筆者は採集したことがない。

- 4) ヒメクロゴキブリ *Chorisoneura nigra*

播磨各地の樹上にて見られる。広葉樹が好きなのか多く生息している。本州では京都、兵庫、和歌山に分布している。

〈採集例〉

- 1ex. 6-VII-1975 赤穂市坂越 Col. 採集者不詳
多数 -VII-1995 高砂市 Col. 相坂耕作

- 5) ツチゴキブリ *Margattea kumamotonis kumamotonis*

成虫および幼虫ともに積まれた枯草などの中に見られるという。赤穂市での記録がある。

〈採集例〉

- 1ex. 15-XI-1977 赤穂市 Col. 橋田和則

- 6) キスジゴキブリ *Symploce striata striata*

本州では現在の東限として赤穂市坂越が知られ

ている。

7) チャバネゴキブリ *Blattella germanica*

世界共通種として有名。播磨各地でもビルや飲食店にて多く見られる。

<採集例>

1♂ 1-VII-1963 姫路市南畝町 Col. 相坂耕作

1♀ 9. VI-1994 姫路市西延末 Col. 相坂耕作

8) モリチャバネゴキブリ *Blattella nipponica*

海岸近くの松林などには特に多いようである。

<採集例>

1ex. 29-IX-1967 龍野市竜野町 Col. 相坂耕作

1ex. 4-XI-1985 姫路市林田町 Col. 相坂耕作

1ex. 4-VI-1995 赤穂市坂越生島 Col. 大貝秀雄

9) サツマゴキブリ *Opisthoplatia orientalis*

朽ち木の樹皮に潜んでいるらしいが、播磨地方では神崎郡でオガ屑内で見つかったことがある。

1♀ 20-V-1988 神崎郡神崎町 Vol. 森田真澄

10) オオゴキブリ *Panesthia angustipennis spadica*

近代昆虫分類学の祖、播磨出身の松村松年博士の弟子の素木得一が播磨産のオオゴキブリにより学名記載を行ったという。旧名はオオアブラムシ、ツノオホゴキブリといわれたそうである。

<採集例>

1♀ 12-VII-1979 加西市坂本町 Col. 相坂耕作

1♀ 1-IX-1982 姫路市書写山 Col. 相坂耕作

多数 4-VI-1995 赤穂市坂越生島 Col. 相坂耕作

内職的に集めただけなのであまり標本としていないが、今後衛生害虫にも力を入れたいと思っている。

<参考文献>

日浦 勇 Nature Study. 21(3):2~4, 21(5):2~6, 21(10):2~4.

森田真澄 きべりはむし第16巻第2号 兵庫昆虫同好会(1988年)

朝比奈正二郎 日本産ゴキブリ類 (株)中山書店 (1991年)

(AISAKA KOUSAKU 姫路市大津区天満 960-19)

越冬前のウラギンシジミ

近藤 伸一

自宅(神戸市西区)のアラカシの生け垣で越冬に入る前のウラギンシジミの行動を観察することが出来た。晩秋のウラギンシジミは、一旦越冬に入っているように見えても、条件しだいでは越冬場所を選びかえるようである。以下は観察記録。

1998年11月2日

14:00 ウラギンシジミがアラカシの生け垣にまとわりように飛んでいるのを見つけた。

14:10 アラカシの葉裏に止まり静止した。

14:30 止まっていた葉から30cmほど離れ、やや茂みの奥まった葉に移動した。

15:00 触角を翅の間に挟み、前脚を折り曲げた越冬態勢になる。

11月4日

9:00 同じ態勢

17:00 同じ態勢

22:00 翅にマークするため、マジックインキで触れた瞬間に飛びたった。越冬態勢に入って2日間まったく動きはなく、気温も低かったため、この敏感さは意外であった。

11月5日

9:00 飛びたった葉から1mほど離れた葉の裏に止まっているのを再度見つけた。翅にかすかにマジックインキの跡があり、同一個体である。この場所は外に面し、直接風が当たる越冬に不向きな場所とおもわれた。

11月6日~11月18日

機会ある度に観察したが、同じ場所、同じ態勢で、そのまま越冬に入ったものと思っていた。

11月20日 7:00

姿が見えなくなった。

(KONDO SHINICHI 神戸市西区岩岡町岩岡 619-57)

上郡町で採集した蛾(1)

兵庫県産蛾類分布資料・6

高島 昭

赤穂郡上郡町は県の南西部に位置し、西を岡山県と接する。平野部は少なく、町内を南北に貫流する千種川とその支流周辺に平地が広がるだけで、大部分は丘陵地からなる。頂部はなだらかな隆起準平原的な環境で吉備高原の延長と考えられ、それほど高い山はなく、最高地点でも約440mである。

瀬戸内型気候であるがやや内陸的で温暖少雨である。植生はアカマツやコナラが主体の平凡な二次林がほとんどで、西播地域の代表的な植生であり、蛾相は貧弱なものと思われる。しかし、この地域の蛾はこれまであまり調査がされておらず、県最西端ということで分布上は興味深く、今回の調査を実施した。採集地は主に町最西端に近い安室ダム周辺(行頭集落)である。採集は街灯(水銀灯)に頼ったため、蛾の採集環境としては今一つであり、時期的にも春～初夏が中心で記録できた種類数も少ないが、なかには注目すべき種もいくつか採集できたので中間報告をさせていただく。上郡町行頭で採集したものは採集地名を省略した。それ以外の採集地は()書きで示した。但し"上郡町"は省略してある。採集者はすべて筆者である。

また、種名の前の番号は便宜上付したものである。配列は日本産蛾類大図鑑によった。なお、注目種の分布状況等について山本義丸氏にはいろいろと御教示を賜った。厚く御礼申し上げる。

<メイガ科 PYRALIDAE>

1. *Chilo suppressalis* (Walker) ニカメイガ
12. VII. 1995 1♀
2. *Japonichilo bleszynskii* Okano
チャバネツトガ
23. VI. 1995 1♂1♀
3. *Ancylolomia japonica* (Zeller) ツトガ
12. VII. 1995 1♀
4. *Cnaphalocrocis medinalis* (Guenée)
コブノメイガ
7. IX. 1995 1♂

5. *Palpita nigropunctalis* (Bremer)
マエアカスカシノメイガ
7. IX. 1996 1♂
6. *Sinibotys evenoralis* (Walker)
セスジノメイガ
23. VI. 1995 1♂
7. *Herpetogramma luctuosalis* (Guenée)
モンキクロノメイガ
23. VI. 1995 1♂, 7. IX. 1995 1♂
8. *Ostrinia furnacalis* (Guenée) アワノメイガ
7. IX. 1995 1♂
9. *Nymphula responsalis* (Walker)
ヒメマダラミズメイガ
7. IX. 1995 1♂
10. *Termioptycha margarita* (Butler)
ナカジロフトメイガ
23. VI. 1995 1♂
11. *Endotricha icelusalis* (Walker)
オオウスベントガリメイガ
23. VI. 1995 1♀
12. *Phycitodes subcretacellus* (Ragonot)
マエジロホソマダラメイガ
7. IX. 1995 1♂1♀
13. *Salebria semirubella* (Scopoli)
アカマダラメイガ
12. VII. 1995 1♂

<イラガ科 LIMACODIDAE>

1. *Narosoideus flavidorsalis* (Staudinger)
ナシイラガ
12. VII. 1995 2♂
2. *Microleon longipalpis* Butler テングイラガ
23. VI. 1995 1♂
3. *Parasa sinica* Moore クロシタイラガ
23. VI. 1995 1♂

<カギバガ科 DREPANIDAE>

1. *Agnidra scabiosa* (Butler) マエキカギバ
7. IX. 1995 1♂
2. *Pseudalbara parvula* (Leech)
ヒメハイイロカギバ
2. VI. 1995 1♀
県内での記録は案外少なくこれまで氷上郡¹⁵⁾、
氷ノ山²⁾、波賀町⁴⁾、相生市⁵⁾で採集されて
いる。
3. *Macroclilix mysticata* (Walker)
ウスギヌカギバ
26. V. 1995 1♂

<トガリバガ科 THYATIRIDAE>

1. *Kurama mirabilis* (Butler)
サカハチトガリバ
27. IV. 1995 1♂
春に1回だけ出現するガで、トガリバガの中
にはこのような年周期のものが多く、次の2種
も同様である。普通種と思われるが兵庫県では
神戸市摩耶山⁶⁾で古い記録があるほか、姫路市
広嶺山⁷⁾、相生市瓜生⁵⁾での記録があるだけで
ある。
2. *Neoploca aretipennis* (Butler)
マユミトガリバ
7. IV. 1995 1♀
3. *Demopsestis punctigera* (Butler)
ホシボシトガリバ
31. III. 1995 3♂, 7. IV. 1995 1♂
27. IV. 1995 1♂

<シャクガ科 GEOMETRIDAE>

1. *Geometra valida* Felder & Rogenhofer
クロスジアオシャク
23. VI. 1995 1♂
2. *Geometra glaucaria* Ménétriers
コシロオピアオシャク
23. VI. 1995 1♂
3. *Pelagodes subquadrata* Inoue クスアオシャク
23. VI. 1995 1♀
4. *Jodis praerupta* (Butler)
マルモンヒメアオシャク

23. VI. 1995 1♂1♀
5. *Hemithea aestivaria* (Hübner)
キバラヒメアオシャク
7. IX. 1995 1♂
6. *Hemithea marina* (Butler)
アオスジアオシャク
23. VI. 1995 1♂
大図鑑によると比較的少ない種で、県下では
これまで南淡町⁸⁾、神戸市摩耶山⁶⁾、波賀町⁴⁾、
相生市⁵⁾で記録されている。
7. *Idiochlora ussuriaria* (Bremer)
ナミスジコアオシャク
7. IX. 1995 1♀
8. *Comostola subtiliaria* (Bremer)
コヨツメアオシャク
23. VI. 1995 3♂
9. *Pylargosceles steganioides* (Butler)
フタナミトビヒメシャク
26. V. 1995 1♂
10. *Timandra comptaria* Walker
コベニスジヒメシャク
15. V. 1995 1♂
11. *Problepsis diazoma* Proul
クロスジオオシロヒメシャク
7. IX. 1995 1♀
12. *Scopula nigropunctata* (Hufnagel)
マエキヒメシャク
2. V. 1995 1♀, 15. V. 1995 1♀
26. V. 1995 1♂, 2. VI. 1995 1♂
13. *Scopula tenuisocius* Inoue
アメイロヒメシャク
7. IX. 1995 2♂
14. *Scopula semignobilis* Inoue
ウスサカハチヒメシャク
26. V. 1995 1♀
ヤマノイモを食する小型のヒメシャクで、県
下での記録は氷上郡¹⁵⁾、南淡町⁸⁾の2例だけで
ある。
15. *Idaea muricata* (Hufnagel) ベニヒメシャク
12. VII. 1995 1♂
16. *Idaea foedata* (Butler)
クロテントビヒメシャク

12. VII. 1995 1♀
山地性の種で、県下ではこれまで氷上郡¹⁵⁾、
氷ノ山²³⁾、宝塚市¹²⁾で記録があるにすぎない。
17. *Idaea imbecilla* Inoue
オオウスモンキヒメシャク
26. V. 1995 1♀
18. *Tyloptera bella* (Butler) ホソバナミシャク
15. V. 1995 1♂, 2. VI. 1995 1♂
19. *Idiotephria evanescens* (Staudinger)
ナカモンキナミシャク
31. III. 1995 2♂
春に1回だけ出現する。県下ではこれまで三
日月町⁹⁾で記録があるだけである。
20. *Idiotephria amelia* (Butler)
モンキナミシャク
7. IV. 1995 1♀, 27. IV. 1995 1♂2♀
18. IV. 1996 1♂
21. *Idiotephria debilitata* (Leech)
ギフウスナミシャク
18. IV. 1996 1♂
22. *Eulithis ledereri* (Bremer)
ウストビモンナミシャク
23. VI. 1995 1♀
23. *Gandaritis agnes* (Butler)
キガシラオオナミシャク
23. VI. 1995 1♂
24. *Evecliptera decurrens* (Moore)
セスジナミシャク
2. V. 1995 1♂
25. *Microlygis multistriata* (Moore)
シロホソセスジナミシャク
2. V. 1995 1♂
大図鑑によると稀な種のようなのである。県下で
の記録も氷上郡¹⁵⁾、南淡町⁹⁾、摩耶山¹⁰⁾、三
日月町⁹⁾にみられるのみである。
26. *Abraxas flavisinuata* Warren
スギタニシロエダシャク
7. IX. 1995 1♀
県下ではこれまで氷上郡¹⁵⁾、猪名川町¹¹⁾、
三日月町⁹⁾、宝塚市¹²⁾で記録されているだけで
少ない。
27. *Abraxas latifasciata* Warren
ヒトスジマダラエダシャク
26. V. 1995 1♂
28. *Synegia hadassa* (Butler)
ハグルマエダシャク
23. VI. 1995 1♀
29. *Ectephria semilutea* (Lederer)
アカエダシャク
27. IV. 1995 1♂
30. *Protoboarmia simplicaria* (Leech)
オレクギエダシャク
26. V. 1995 1♂
31. *Rikiosatoa grisea* (Butler)
フタヤマエダシャク
26. V. 1995 1♂
32. *Hypomecis lunifera* (Butler)
オオバナミガタエダシャク
23. VI. 1995 1♂
33. *Heterarmia charon* (Butler)
ナミガタエダシャク
26. V. 1995 1♂
34. *Cusiala stipitaria* (Oberthür)
セプトエダシャク
26. V. 1995 1♂
35. *Megabiston plumosaria* (Leech)
チャエダシャク
17. XI. 1995 1♂ (上郡)
36. *Planociampa modesta* (Butler)
ホソバトガリエダシャク
31. III. 1995 3♂1♀, 18. IV. 1996 1♂
37. *Planociampa antipala* Proul
ヒロバトガリエダシャク
7. IV. 1995 1♂
38. *Cryptochorina amphidasyaria* (Oberthür)
ヒゲマダラエダシャク
31. III. 1995 1♂
39. *Endropiodes circumflexus* Inoue
ツツジツマキリエダシャク
2. V. 1996 1♀
稀種とされており、大図鑑では関東～中部地
方と四国が分布地にあげられているが、近畿地
方でも大阪府箕面¹³⁾で記録がある。筆者は姫路
市広嶺山でも採集している。

40. *Plagidis dolabraria* (Linnaeus)

ナカキエダシャク

2. V. 1989 1♂

41. *Plagidis pulveraria* (Linnaeus)

コナフキエダシャク

12. VII. 1995 1♀

42. *Heterolocho aristonaria* (Walker)

ウラベニエダシャク

2. V. 1995 1♂, 26. V. 1995 1♂

43. *Parepione grata* (Butler)

ウラモンアカエダシャク

15. V. 1989 1♂

44. *Ourapteryx obtusicauda* (Warren)

コガタツバメエダシャク

23. VI. 1995 1♀

<カレハガ科 LASIOCAMPIDAE>

1. *Phyllodesma japonica* (Leech) ヒメカレハ

27. IV. 1995 1♂

西南暖地では稀な種で、県下ではおそらく初記録と思う。近県では岡山県総社市、備中町で記録がある。鳥取県でもとれているらしい。

2. *Euhrix albomaculata* (Bremer) タケカレハ

7. IX. 1995 1♂

3. *Dendrolimus superans* (Butler) マツカレハ

12. VII. 1995 1♂, 7. IX. 1995 1♂

4. *Malacosoma neustria* (Linnaeus) オビカレハ

23. VI. 1995 1♂, 1♀

<オビガ科 EUPTEROTIDAE>

1. *Apha aequalis* (Felder) オビガ

7. IX. 1995 1♂

<ヤママユガ科 SATURNIIDAE>

1. *Rhodinia fugax* (Butler) ウスタビガ

14. XI. 1995 1♀ (上郡)

2. *Actias gnoma* (Butler) オナガミズアオ

26. V. 1995 1♂

3. *Aglia japonica* Leech エゾヨツメ

25. IV. 1996 1♂

兵庫県版レッドデータブックでCランク(特殊な環境に生息する、個体数が極めて少ない、分

布が局限している等、県内において存続基盤が脆弱な種)に指定されているが、県南部の雑木林には案外広く分布しているのではないだろうか。これまでの記録は高島(1996)¹⁴⁾を参照のこと。

<スズメガ科 SPHINGIDAE>

1. *Ambulyx ochracea* Butler ホソバズメ

2. V. 1995 1♂

2. *Langia zenzeroides* Rothschild & Jordan

オオシモフリズメ

7. IV. 1995 1♂

エゾヨツメ同様兵庫県版レッドデータブックでCランクになっている。これまでの記録については高島(1996)¹⁴⁾を参照のこと。

3. *Callambulyx tatarinovii* (Bremer & Grey)

ウンモンズズメ

26. V. 1995 1♂

<シャチホコガ科 NOTODONTIDAE>

1. *Cnethodonta grisescens* Staudinger

バイバラシロシャチホコ

7. IX. 1995 1♂

2. *Harpyia umbrosa* (Staudinger)

ギンシャチホコ

2. VI. 1995 1♂

3. *Uropyia meticolodina* (Oberthür)

ムラサキシシャチホコ

2. V. 1995 1♂

4. *Fentonia ocypte* (Bremer) ホソバシャチホコ

26. V. 1995 2♂

5. *Disparia variegata* (Wileman)

ホソバネグロシャチホコ

26. V. 1995 1♂, 23. VI. 1995 1♂

6. *Zaranga permagna* (Butler)

アオバシャチホコ

2. V. 1995 1♂, 1♀

7. *Pheosiopsis cinerea* (Butler)

スズキシシャチホコ

15. V. 1995 1♂, 26. V. 1995 1♂

8. *Drymonia japonica* (Wileman)

コトビモンシャチホコ

12. VII. 1995 1♂

9. *Drymonia basalis* Wileman & South

ノヒラトビモンシャチホコ

25. IV. 1996 2♂

岩手県から広島県にかけてと四国・九州の山地に分布しており、年1回春に出現する種。クヌギを食し普通に産すると思うのだが、県下では今のところ三日月町⁹⁾、宝塚市¹²⁾の2カ所で記録されているだけである。筆者は相生市でも採集している。

10. *Epodonta lineata* (Oberthür)

ヤスジシャチホコ

31. III. 1995 1♂

普通種ではあるが、早春3月という本種にしては異例な時期に採集している。通常は5~6月と8~9月の年2回発生するようで、この時期の記録は見当たらない。採集したのは新鮮な個体である。

11. *Lophontesia pryri* (Butler)

ブライヤエグリシャチホコ

23. VI. 1995 1♂

12. *Pterostoma sinicum* Moore

オオエグリシャチホコ

2. V. 1995 1♂, 2. VI. 1995 1♂

<ドクガ科 LYMANTRIIDAE>

1. *Calliteara pseudabietis* Butler リンゴドクガ

15. V. 1995 1♂, 26. V. 1995 1♂

2. VI. 1995 1♂

2. *Calliteara lunulata* (Butler) アカヒゲドクガ

2. V. 1995 1♂

3. *Cifuna locuples* Walker マメドクガ

7. IX. 1995 1♀

4. *Orgyia thyellina* Butler ヒメシロモンドクガ

12. VII. 1995 1♂

5. *Euproctis pulverea* (Leech) ゴマフリドクガ

15. V. 1995 1♂, 2. VI. 1995 1♂

<ヒトリガ科 ARCTIIDAE>

1. *Pelosi muscerda* (Hufnagel) ホシホソバ

15. V. 1995 1♂1♀

県下での記録は氷上郡¹⁵⁾、宝塚市¹²⁾、姫路

市¹⁶⁾の3カ所で少ない。本種は前翅の黒点列に特徴があり、比較的特定しやすいが、ホソバの仲間は特定が困難なものが多いため、採集を敬遠されやすいことが記録の少ない原因かもしれない。

2. *Elimea deplana* Esper ムジホソバ

23. VI. 1995 1♂

3. *Elimea aegrota* (Butler)

キシタホソバ

15. V. 1995 1♀

4. *Ghonia collitoides* Butler

キマエクロホソバ

23. VI. 1995 1♂

5. *Bizone hamata* Walker アカスジシロコケガ

23. VI. 1995 1♀

6. *Eugoa grisera* Butler

クロテンハイロコケガ

7. IX. 1995 1♂

7. *Miltochrista striata* (Bremer & Grey)

スジベニコケガ

26. V. 1995 1♀, 7. IX. 1995 1♀

8. *Stigmatophora leacrita* (Swinhoe)

ゴマダラキコケガ

12. VII. 1995 1♀, 7. IX. 1995 1♂

9. *Spilarctia seriatopunctata* Motschulsky

スジモンヒトリ

2. VI. 1995 1♂, 23. VI. 1995 1♀

7. IX. 1995 1♀

10. *Spilosoma bifasciata* (Butler)

フタスジヒトリ

23. VI. 1995 1♀

11. *Eospilarctia lewisii* (Butler)

クロフシロヒトリ

15. V. 1995 1♂

12. *Spilosoma punctaria* (Gramer)

アカハラゴマダラヒトリ

26. V. 1995 1♂

13. *Spilosoma lubricipeda* (Linnaeus)

キハラゴマダラヒトリ

26. V. 1995 1♀, 7. IX. 1995 1♂

<ヤガ科 NOCTUIDAE>

1. *Trichosea champa* (Moore) キバラケンモン
23. VI. 1995 1♂
2. *Lophonycta confusa* (Leech) アミメケンモン
23. VI. 1995 1♂1♀
3. *Helocoverpa armigera* (Hübner) オオタバコガ
14. X. 1996 1♂ (船坂)
4. *Agrotis segetum* (Denis & Schifferrmüller)
カブラヤガ
25. IV. 1996 1♂
5. *Hermonassa cecilia* Butler クロクモヤガ
2. VI. 1995 1♂, 23. VI. 1995 1♂
6. *Sineugraphe longipennis* (Boursin)
オオカバシヤガ
2. VI. 1995 1♂
7. *Diarsia deparca* (Butler) コウスチャヤガ
2. V. 1995 1♂
8. *Diarsia canescens* (Butler) オオバコヤガ
15. V. 1995 1♂, 26. V. 1995 1♂
9. *Diarsia ruficauda* (Warren)
ウスイロアカフヤガ
2. V. 1995 1♂
10. *Mamestra brassicae* (Linnaeus) ヨトウガ
27. IV. 1995 1♂, 15. V. 1995 1♂
11. *Xylopolia bella* (Butler) クロスジキリガ
7. IV. 1995 1♂
早春に1回出現するキリガの仲間では、比較的県下の記録が少ない。これまで猪名川町¹¹⁾、川西市¹⁷⁾で記録されているだけである。筆者は相生市でも採集している。
12. *Egira saxeae* (Leech) ケンモンキリガ
7. IV. 1995 2♂1♀, 2. V. 1995 1♂
13. *Panolis japonica* Draudt マツキリガ
31. III. 1995 1♂1♀
14. *Clavipalpus aurariae* (Oberthür)
キンイロキリガ
2. V. 1995 1♂1♀
15. *Perigrapha hoenei* Püngeler スギタニキリガ
7. IV. 1995 1♂
16. *Orthosia lizetta* Butler クロミミキリガ
31. III. 1995 1♂
17. *Orthosia paromoea* (Hampson) ブナキリガ

31. III. 1995 1♂
18. *Orthosia fausta* Leech クロテンキリガ
31. III. 1995 1♂, 2. V. 1995 1♀
19. *Orthosia limbata* (Butler) シロヘリキリガ
31. III. 1995 2♂
20. *Orthosia gothica* (Matsumura) カシワキリガ
7. IV. 1995 1♂
21. *Mythimna matsumuriana* (Bryk)
ミヤマフタオビキヨトウ
15. V. 1995 1♂
局地的な種で、これまで能勢妙見山¹⁸⁾で記録がある。筆者は川西市でも採集している。
22. *Aletia placida* (Butler) クロシタキヨトウ
23. VI. 1995 1♀
23. *Aletia pryeri* (Leech) ウラギンキヨトウ
7. IX. 1995 1♂1♀
24. *Aletia consanguis* (Geunée)
マメチャイロキヨトウ
26. V. 1995 1♂
25. *Xylota formosa* (Butler)
キバラモクメキリガ
2. V. 1995 1♂
26. *Conistra fletcheri* Sugi テンスジキリガ
7. IV. 1995 1♂1♀
27. *Sesamia turpis* (Butler) テンオビヨトウ
2. VI. 1995 1♂
28. *Spodoptera litura* (Fabricius)
ハスモンヨトウ
22. X. 1995 1♂
29. *Spodoptera depravata* (Butler)
スジキリヨトウ
15. V. 1995 2♂, 7. IX. 1995 3♂
30. *Cosmia camplostigmata* (Ménétrières)
シラオビキリガ
23. VI. 1995 3♂
やや局地性強い種であるが、県下では比較的多く記録されており、これまで柏原町¹⁹⁾、市島町¹⁹⁾、宝塚市¹²⁾、猪名川町²⁰⁾、三日月町⁹⁾、川西市¹²⁾で採集されている。
31. *Hadjima biguttula* (Motschulsky)
フタテンヒメヨトウ
23. VI. 1995 1♀

32. *Eutelia geyeri* (Felder & Rogenhofer)
フサヤガ
27. IV. 1995 1♂
33. *Evonima mandschuriana* (Oberthür)
リンゴコブガ
23. VI. 1995 1♂
34. *Hylophilodes tsukusensis* Nagano
ツクシアオリング
2. V. 1995 1♀
本州では和歌山県大塔村で初めて記録された
南方系の種で、県下では川西市²²⁾で記録がある。
近県では大阪府、岡山県でも得られている。
35. *Protodeltote pygarga* (Hufnagel)
シロフコヤガ
2. VI. 1995 1♂1♀
36. *Autographa nigrisigna* (Walker)
タマナギンウワバ
13. XI. 1995 1♂
37. *Ctenoplusia agnata* (Staudinger)
ミツモンキンウワバ
7. IX. 1995 1♂
38. *Catocala duplicata* Butler マメキシタバ
12. VII. 1995 1♂
39. *Catocala streckeri* Staudinger
アサマキシタバ
2. VI. 1995 1♂
兵庫県版レッドデータブックでCランクに指
定されている。県下の記録は高島(1996)¹⁴⁾を参
照のこと。
40. *Catocala paraegna* Walker コガタキシタバ
21. VII. 1995 1♂
41. *Mocis annetta* (Butler) ウンモンクチバ
12. VII. 1995 1♂
42. *Mocis ancilla* (Warren) ニセウンモンクチバ
2. VI. 1995 1♂
43. *Ercheia umbrossa* Butler
モンムラサキクチバ
27. IV. 1995 1♂
44. *Metopta rectifasciata* (Ménétrières)
シロスジトモエ
2. V. 1995 1♂
45. *Goniocraspidum pryri* (Leech)
ブライヤキリバ
27. IV. 1995 1♂, 2. V. 1995 1♂
23. VI. 1995 1♂
46. *Plusiodonta casta* (Butler) マダラエグリバ
26. V. 1995 1♂
47. *Sypnoides hercules* (Butler)
アヤシラフクチバ
23. VI. 1995 1♂
48. *Hypersynpoides submarginata* (Walker)
オオシロテンクチバ
7. IX. 1995 1♂
49. *Colobochyla salicalis* (Denis & Schiffermüller)
キンスジアツバ
15. V. 1995 1♀
50. *Ectogonia butleri* (Leech) シロズアツバ
26. V. 1995 1♂, 2. VI. 1995 1♂
51. *Harita belinda* Butler ナカジロアツバ
2. V. 1995 2♂
52. *Hypena indicatalis* Walker トビモンアツバ
7. IX. 1995 1♂
53. *Hypena subcyanea* Butler アオアツバ
12. VII. 1995 1♂
南方系の少ない種で県下では文献上の記録は
おそれないと思われるが、近県では大阪府箕
面¹³⁾で採集されているし、池田市では個体数
が多いところもあるという。県南部をさがせば他
にもみつかると思われる。
54. *Bomolocha semialbata* Syg
ミヤマソトジロアツバ
2. V. 1995 1♂
県下での記録はかなり少ない。これまで柏原
町¹⁹⁾、氷ノ山³⁾、宝塚市¹²⁾、波賀町⁴⁾で採集
されている。
55. *Hydrillodes morosa* Guenée
ヒロオビウスグロアツバ
2. V. 1995 1♂
56. *Nodaria tristis* Butler ヒゲブトクロアツバ
15. V. 1995 2♂, 26. V. 1995 1♂
2. VI. 1995 1♂
57. *Simplicia niphona* Butler
オオアカマエアツバ
23. VI. 1995 1♂

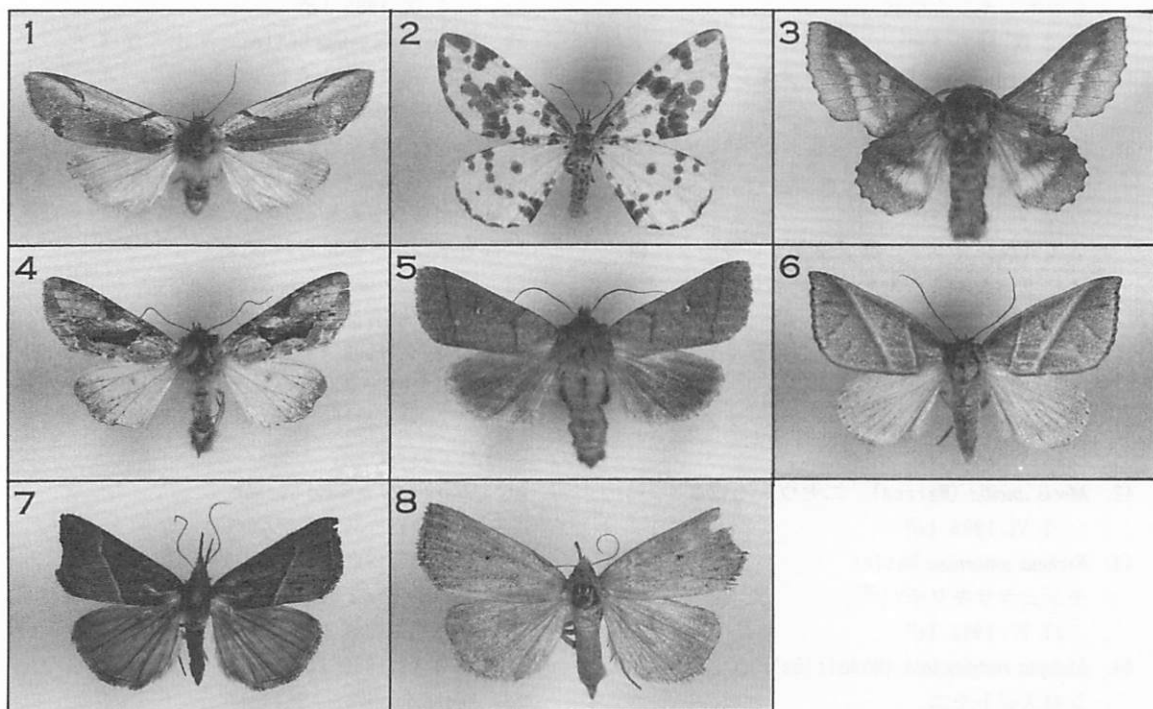
58. *Zanclognatha lilacina* Butler ウスイロアツバ
23. VI. 1995 1♀
59. *Zanclognatha tarsipennalis* Treitschke
ヒメコブヒゲアツバ
26. V. 1995 2♂, 23. VI. 1995 1♀
60. *Herminia arenosa* Butler
ウスキミスジアツバ
15. V. 1995 1♀, 2. VI. 1995 2♀
61. *Herminia tarsicrinalis* Knoch
トビスジアツバ
15. V. 1995 2♀
62. *Stenhyphenia nigripuncta* Wileman
ムモンキイロアツバ
26. V. 1995 2♂, 7. IX. 1995 1♂
- 局地的な種で県下の記録も少ない。これまで猪名川町¹¹⁾、宝塚市¹²⁾と県下東部で記録があるだけである。

以上、計168種を記録している。概してこの地域

での普通種がほとんどであるが、中にはナカモンキナミシャク、ツツジツマキリエダシャク、ヒメカレハ、ミヤマフタオビキヨトウ、ツクシアオリンガ、ヒメオビウスイロヨトウ、アオアツバなど分布上注目すべき種が含まれており、もっと詳しく調査すればさらにもおもしろい種が発見される可能性は高いと思われる。

<参考文献>

- 1) 井上 寛(1982) 日本産蛾類大図鑑(講談社・東京)
- 2) 山本義丸(1955) 氷ノ山の蛾について(第一報) 兵庫生物 3(1/2);3-6.
- 3) 奥谷ほか(1974) 中国山脈東端の昆虫相 東中国山地自然環境調査報告;173-191.
- 4) 高島 昭(1995) 波賀町引原ダム周辺における蛾相第2報 きべりはむし23(2);10-23.
- 5) 高島 昭(1996) 相田市三濃山麓の蛾(1) きべりはむし24(1);27-39.



1. サカハチトガリバ 2. スギタニシロエダシャク 3. ヒメカレハ 4. クロスジキリガ
5. ミヤマフタオビキヨトウ 6. ツクシアオリンガ 7. アオアツバ 8. ムモンキイロアツバ

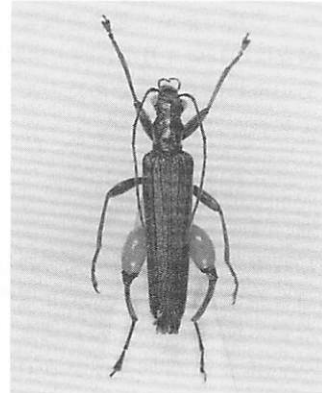
- 6) 田中 蕃(1967) 神戸市摩耶山に産する大蛾類
佳香蝶19(71);89-104.
- 7) 木村三郎(1984) 広峰・増位山系の昆虫 て
んとうむし(9);53-58.
- 8) 藤平 明(1979) 南淡の蛾(IV) PARNASSIUS
(20);10-18.
- 9) 川副昭人(1987) 佐用郡三日月町の蛾覚え書
てんとうむし(10);1-10.
- 10) 岡村八郎(1987) 神戸市摩耶山の蛾類採集目
録 てんとうむし(10);37-45.
- 11) 夏秋 優・佐々木 昇(1982) 能勢地方の蛾(I)
上阿古谷・夏の蛾 Crude(23);1-37.
- 12) 宝塚市教育委員会編(1992) 宝塚の昆虫Ⅲ
蛾類(I)
- 13) 山本義丸(1996) 箕面山蛾類目録(誘蛾会・新
潟)
- 14) 高島 昭(1996) レッドデータブックの蛾 き
べりはむし24(2);35-44.
- 15) 山本義丸(1958) 兵庫県氷上郡昆虫目録;12
-50
- 16) 日本野鳥の会編(1992) 姫路市自然観察の森
林内基礎調査報告書 昆虫類 p.119-151.
- 17) 夏秋 優・佐々木 昇(1994) 能勢地方の蛾(VI)
キリガ(その3) Crude(39);16-25.
- 18) 夏秋 優・佐々木 昇(1984) 能勢地方の蛾(Ⅲ)
妙見山・夏の蛾(1) Crude(25);15-22.
- 19) 山本義丸(1996) 兵庫県氷上地方の蛾類(1)
きべりはむし24(2);1-13.
- 20) 夏秋 優・佐々木 昇(1983) 能勢地方の蛾(Ⅱ)
猪名川町上阿古谷・夏の蛾(続報) Crude
(24);1-12.
- 21) 新家 勝(1985) 宝塚大橋の照明灯で採集した
蛾(続報その4) きべりはむし13(2);36-40.
- 22) 越野・宇根崎(1993) 大阪府南部の注目すべ
き蛾類Ⅱ 蛾類通信174;422-425.
- 23) 山本義丸(1956) 氷ノ山の蛾について(第二報)
兵庫生物 3(3);121-123.
- 24) 倉敷昆虫館編(1978) 岡山県の昆虫 -岡山県
昆虫生息調査報告書-

(TAKASHIMA AKIRA 姫路市書写2542-2)

フタイロカミキリモドキの 兵庫県北部からの採集記録 永幡 嘉之

フタイロカミキリモドキ *Oedemeronia sexualis*
はこれまで兵庫県下では淡路島、家島、赤穂市生
島など、太平洋あるいは瀬戸内海の離島から4例
の採集記録が報告されている(高橋, 1992; 近藤, 1
996)。筆者は日本海側の浜坂町でも採集している
ので報告する。

1♂, 美方郡浜坂町城山, 10. V. 1992, 筆者採集.



南方系の種で、海岸づたいに分布しているが、
兵庫県の本土側からの記録はこれが初めてではな
いかと考えられる。城山では決して珍しい種では
なく、5月上旬にクサイチゴなどの花に集まって
いる姿をしばしば見かける。他の場所では注意し
て探していないが、おそらく但馬海岸一帯に広く
分布しているものと思われる。

＜参考文献＞

- 高橋寿郎(1992) 兵庫県のカミキリモドキ,
IRATSUME 15/16:1-14.
近藤伸一(1996) フタイロカミキリモドキを南淡
町門崎で採集, きべりはむし 24(2):49.

(NAGAHATA YOSHIYUKI 伊那市西箕輪2771-4-13)

黒川のチョウ

木下 修一

1. はじめに

黒川地域は川西市北部の妙見ケーブルと一庫ダムに挟まれた地域で、いわゆる北摂地方全般で見られる低山と谷間からなる地域である。この地域では、東西を流れる河川(黒川)とその周辺に広がる水田と集落、およびクヌギを主体とした二次林、栗林など典型的な里山風景が見られる。山道沿いには良く管理された台場クヌギが残されており、田圃の畦や休耕田には多種の雑草が生えている。こうした環境がこの地域の多様な昆虫の発生とつながっていると考えられる。

筆者は昨年この黒川地域の昆虫を調査をする機会を得た。調査は1996年4月から約1年間行った。その結果とその後の調査をまとめたので、今回と次回に分けて発表したいと思う。

2. 調査方法

大体午前10時頃から午後2時頃までの日中に黒川地域の山道を歩き、目視によりチョウやトンボのおおまかな個体数調査を行った。調査は4月から10月の間の大体月2-3回のペースで行った。

3. 調査結果

黒川地域でほぼ同じ地区を同じ時間帯に歩き、チョウをカウントして得たおおまかな個体数調査結果を表1に示す。北摂では偶産種を除いて95種が記録されているが¹⁾⁹⁾、今回調査期間内に観察ないし採集された種類数は、同時に調査された福原 整氏、近藤伸一氏の報告も含め合計7科62種であった(表2)。観察された種類はすべて北摂ですでに報告されている種類で、これらは同時期の箕面市止々呂美地域での観察結果⁷⁾ともほぼ一致し、黒川地域が北摂の中では一般的な蝶の分布を見せていることを示している。止々呂美地域と比較をすると、個体数、種類数のいずれをとっても少なく、これは上記の全般的な印象の所でも述べ

られたとおり、広い水田の存在と水田の回り及び山中の栗林などでのかなり頻繁な下草の刈り込みがなされることにより、吸蜜される植物が少ないことが原因の一つとしてあげられる。全般的にアゲハチョウ科の個体数が少ないことが目に付いたが、食草となるべきミカン科、セリ科、クスノキ科などの植物が少ないことに起因しているのかもしれない。

「北摂の蝶」¹⁾に局所的、あるいは、個体数が少ないと記載されている種で今回観察された種は、(アゲハチョウ科) オナガアゲハ、モンキアゲハ、カラスアゲハ

(シロチョウ科) エゾスジグロシロチョウ、スジボソヤマキチョウ

(シジミチョウ科) ウラナミアカシジミ、オオミドリシジミ、トラフシジミ

(タテハチョウ科) オオウラギンスジヒョウモン、クモガタヒョウモン、ツマグロヒョウモン、メスグロヒョウモン、ホシミスジ、サカハチチョウ、オオムラサキ、スミナガシ、ヒメアカタテハ

(ジャノメチョウ科) ヤマキマダラヒカゲ

(セセリチョウ科) アオバセセリ、キマダラセセリ、ホソバセセリ、チャバネセセリ、ミヤマチャバネセセリ

である。逆に、普遍的で個体数が多いないし普通とされている種で観測されなかったものはなく、この意味でも黒川地域が蝶に関する限り北摂地方に一般的な分布を示しているといっていよう。

その他、同時に調査された福原 整氏からは、越冬幼虫の観察で、オオムラサキ、ゴマダラチョウの幼虫はかなり確認できたが、ミスジチョウの幼虫は確認できなかったとの報告があった。またキマダラモドキとクロヒカゲモドキは黒川地域以外の上杉尾根でも探索したが、姿をみる事ができなかったそうである。

表1 黒川のチョウ（個体数調査）

	年 月 日	1 9 9 6																				1997				
		4	4	5	5	5	6	6	6	7	7	7	8	8	8	9	9	10	10	2	3	4				
科 名	種 名	27	28	12	18	26	2	16	30	6	13	21	4	16	31	7	23	6	20	9	22	13				
1	アゲハチョウ																									
2	アゲハチョウ																									
3	オナガアゲハ																									
4	クロアゲハ																									
5	モンキアゲハ																									
6	カラスアゲハ																									
7	アオスジアゲハ																									
8	シロチョウ																									
9	スジボソヤマキチョウ																									
10	ツマキチョウ																									
11	モンキチョウ																									
12	モンシロチョウ																									
13	スジグロシロチョウ																									
14	エノスジグロシロチョウ																									
15	シジミチョウ																									
16	ミズイロオナガシジミ																									
17	ウラナミシジミ																									
18	オオミドリシジミ																									
19	トラフシジミ																									
20	コフバメ																									
21	ベニシジミ																									
22	ウラナミシジミ																									
23	ヤマトシジミ																									
24	フバメシジミ																									
25	ルリシジミ																									
26	ウラギンシジミ																									
27	テングチョウ																									
28	タテハチョウ																									
29	クモガタヒヨウモン																									
30	メスグロヒヨウモン																									
31	フマグロヒヨウモン																									
32	イチモンジセウ																									
33	アサマイチモンジ																									
34	コミスジ																									
35	ホシミスジ																									
36	サカハチセウ																									
37	キタテハ																									
38	アカタテハ																									
39	ヒメアカタテハ																									
40	ルリタテハ																									
41	スミナガシ																									
42	オオムラサキ																									
43	ジャノメチョウ																									
44	ジャノメチョウ																									
45	ヒカゲチョウ																									
46	クロヒカゲ																									
47	ヤマキマダラヒカゲ																									
48	サトキマダラヒカゲ																									
49	ヒメジャノメ																									
50	コジャノメ																									
51	セセリチョウ																									
52	ダイミョウセセリ																									
53	ミヤマセセリ																									
54	ホソバセセリ																									
55	コチャバネセセリ																									
56	キマダラセセリ																									
57	オオチャバネセセリ																									
58	チャバネセセリ																									
59	イチモンジセセリ																									
種類数		8	17	17	22	21	21	24	25	26	19	23	22	21	29	21	25	20	11	0	1	17				

注1 数字は個体数、+は5-10頭、++は10頭以上を表す。

表2 黒川のチョウ(月別)

月	種名	種名	2		3		4		5		6		7		8		9		10		個体数	
			前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	黒川	北摂
1	アゲハチョウ	キアゲハ					○										○	○			C	B
2		アゲハチョウ					○	●	●		○	○			○	○					B	B
3		オオアゲハ																			C	B
4		クロアゲハ							○	○	○	○					○	○			B	B
5		モンキアゲハ									○	○	○				○	○			B	C
6		カラスアゲハ									○	○	○								B	B
7		アオスジアゲハ									○	○	○				○	○			B	B
8	シロチョウ	キチョウ					●	●			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	A	A
9		スズメバチ					○														C	B
10		フマエダ					○	○	○												A	B
11		モンキチョウ					○	○	○	○			○	○			○	○	○	○	A	B
12		モンシロチョウ					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	A	A
13		スズメバチ					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	B	B
14		モンシロチョウ					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	A	B
15	シジミチョウ	ムナシシジミ					○						○	○	○	○					B	B
16		ミズイロオオシジミ											○								C	B
17		ウラナシシジミ											○								C	B
18		オオミドリシジミ											○								C	C
19		トラフシジミ					○	○	○	○	○	○									B	C
20		コノハハシ					○	○													C	B
21		ベニシジミ					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	A	A
22		ウラナシシジミ																			C	B
23		ヤマトシジミ					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	A	A
24		ツバメシジミ					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	A	B
25		ルリシジミ					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	B	B
26		ウラギンシジミ											○	○	○	○	○	○	○	○	B	B
27	テンダチョウ	テンダチョウ					○	○	○	○	○	○									B	B
28	タテハチョウ	オオウラギンシジミ																			C	C
29		ミドリキチョウ																			C	B
30		クサキチョウ											○	○							C	C
31		メスグロキチョウ											○	○							C	B
32		フタホシキチョウ																			C	C
33		イナバネキチョウ											○	○	○	○	○	○	○	○	B	B
34		アサマイトキチョウ											○	○	○	○	○	○	○	○	B	B
35		コノハハシ											○	○	○	○	○	○	○	○	A	B
36		オオシシジミ											○	○							C	C
37		オオアゲハ																			C	B
38		キアゲハ					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	B	B
39		アゲハチョウ					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	B	B
40		ミドリキチョウ																			C	C
41		ルリキチョウ											○								C	B
42		スズメバチ																			C	C
43		ゴマダチョウ					△														C	C
44		オオムラサキ					△														C	C
45	ジヤノメ	ヒメウラナシ											○	○	○	○	○	○	○	○	A	B
46		ジヤノメ											○	○	○	○	○	○	○	○	A	B
47		ヒメウラナシ											○	○	○	○	○	○	○	○	B	B
48		クロハカガ											○	○	○	○	○	○	○	○	B	B
49		ヤマウラナシ											○								C	C
50		サトウハチ											○	○	○	○	○	○	○	○	A	B
51		ヒメウラナシ											○	○	○	○	○	○	○	○	B	B
52		コノハハシ											○	○	○	○	○	○	○	○	B	B
53	キアゲハ	アゲハチョウ											○	○							C	C
54		ミドリキチョウ											○	○	○	○	○	○	○	○	B	B
55		ミナモトキ					○	○	○	○											B	B
56		オノハハシ																			C	B
57		コノハハシ											○	○	○	○	○	○	○	○	A	A
58		キアゲハ											○	○	○	○	○	○	○	○	B	C
59		オオアゲハ											○	○	○	○	○	○	○	○	A	B
60		アゲハチョウ																			B	C
61		ミナモトキ											○	○	○	○	○	○	○	○	C	C
62		イナバネキ																			B	B

注1 今回の筆者の調査結果に、同時に調査された福原整氏、近藤伸一氏の調査結果を加えて作成した。●は成虫の個体数が「非常に多い」、◎は「多い」、○は「少ない」、△は幼虫の確認を示す。

注2 個体数の「北摂」の欄は「北摂の蜂」による。個体数は、文献中の「多い」をA、「普通」をB、「少ない」をCの3段階に示した。個体数の「黒川」は黒川地域での調査結果を示す。今回の調査での確認個体数がおおよそ30頭以上をA、5から30頭程度をB、5頭以下をCとした。しかし、これらは調査した地域や調査にかかった時間などによるので、個体数の絶対値についてはおおよその目安として理解していただきたい。

4. 注目すべき種

アオバセセリ 「北摂の蝶」¹⁾によれば、アオバセセリは北摂地方においては採集記録が少なく、その産地も限定されているようである。また、溪流沿いあるいは山頂付近で目撃されることが多いとある。今回は5月と8月に目撃された。春に見られた個体のうち1頭は農道沿いの土手に止まり、田圃の上を飛び回って、また土手の草の葉裏にとまるという行動をしており、もう1頭は畑地のネギボウズに吸蜜していたもので、いずれも開けた畑近くで観察されたものである。「北摂の蝶」によれば、1980年代半ばからの個体数減少傾向が明らかで、三草山ではテリトリーを張る個体がほとんど見られなくなったとの記載がある。最近の北摂地方での報告では、能勢町三草山、能勢町横尾山、豊能町初谷、神戸市道場、三田市本庄などが産地としてあげられている。

エソスジグロシロチョウ 近縁の種との区別が日本産蝶類の中でもっとも困難な種の一つである。近縁のスジグロシロチョウとは夏型の♂においてもっとも区別がつけやすく、全般に白っぽく、♂前翅表面第3室の黒紋が円形であることで区別がつけられる¹⁰⁾¹¹⁾。北海道から九州まで広く分布するが、局地的でスジグロシロチョウより山地寄りを好む。また、日向を好むため、やや日陰を好むスジグロシロチョウとは棲み分けているが、完全に混棲しているところもあり、そのような所では中間的な個体も見られるという。発生は年2-3回で秋には余り見られないとの報告があり、年4-5回のスジグロシロチョウと対比できる。

北摂地方の分布について大阪市立自然史博物館の「北摂の自然」⁴⁾に詳しく述べられているが、それによると、両者の食草の違いと密接に結びついているようである。すなわち、スジグロシロチョウはタネツケバナ、オオバタネツケバナ、ニシノオオタネツケバナ、イヌガラシを主な食草としているのに対し、エソスジグロシロチョウがハクサンハタザオを食草としているからであるとされている。したがって、スジグロシロチョウは比較的山よりの沢べりなどに普通にいるのに対し、エソスジグロシロチョウはハクサンハタザオの分布と

非常に密接な関係が認められる。ハクサンハタザオは北摂では低山地で見られるが、分布は山地よりもやや局地的で、これがエソスジグロシロチョウの分布の局地性と関係があると見られている。

なお、この両者は、箕面市止々呂美地域では、上止々呂美の谷筋でエソスジグロシロチョウが、下止々呂美でスジグロシロチョウが棲息し、棲み分けがなされているようである。黒川地域では夏に見られる個体がほぼエソスジグロシロチョウであることが分かった。また、9月23日の調査ではかなり痛んだエソスジグロシロチョウがいたのに対し、近くに大型で新鮮なスジグロシロチョウが見られ、時期的に発生時期が少しずれるものの両者は黒川地域では混棲しているものと見られる。また、同日の観察ではエソスジグロシロチョウの♀がハクサンハタザオに産卵している姿もみられた。黒川地域では、黒川沿いおよび支流沿いにハクサンハタザオが群生しており、この意味でもエソスジグロシロチョウの発生に都合のよい環境にあるといえる。なお、春に多く発生した個体については詳しい調査を行なわなかったのが特に残念であるが、「宝塚の昆虫」²⁾によれば、能勢妙見初谷では両者が混棲しているとの記述があることなどから今後の調査が必要と思われる。

ヤマキマダラヒカゲ 高橋真弓著「チョウ」築地書館(1979)にそれまでキマダラヒカゲとされていた個体に2種類あることを発見した経緯が詳しくのっているチョウである。幼虫において差異ははっきりしているが、成虫ではヤマキマダラヒカゲとサトキマダラヒカゲの差異はわずかである。「北摂の蝶」によれば、北摂地方ではサトキマダラヒカゲの方が普通で、ヤマキマダラヒカゲは山頂しかも500-600m以上の山地に分布の中心があると見られるとある。産地としては、能勢町天王、能勢町剣尾山、能勢町小和田山、猪名川町大野山などで、黒川地域のような標高の低い平地に近い環境で見られたのは興味深い。

ホシミスジとツマグロヒョウモン 「北摂の蝶」では産地が局限され個体数も少ないことになっているが、実際には関西の住宅地付近で数多く見る。これは前者が食草がユキヤナギなど庭の植栽によ

く使われる木になっており、また、後者は観賞用のスミレ類が食草であることによると思われる。黒川地域では前者はわずかに2頭、後者は1頭見られたにとどまる。

サカハチチョウ 九州以北に普通に産するタテハチョウであるが、北摂地域ではその分布が注目されている。「北摂の蝶」によれば、1955年以前はこの地域に観察されておらず、それ以降に観察されるようになったところから、分布拡大説と放蝶説が考えられている。これは、亀岡市と高槻市の山地帯で多く見られるのに対し、能勢地方の記録が散発的であることに依っている。能勢では能勢町天王、能勢町妙見山、豊能町初谷、豊能町青貝山、川西市妙見新滝、川西市笹部などが産地となっているが、能勢町ではほとんど姿を見ることがないとの報告⁸⁾もある。特に黒川地域に隣接した豊能町初谷ではかなりの数が観察されているが、近年妙見山周辺での車の排気ガスなどで、初谷の自然が破壊されつつあるので注意していく必要がある。黒川地域での今回の調査では5月12日に1頭のみ採集されている。

ゼフィルス類 ゼフィルス類は6月30日と7月6日にミズイロオナガシジミ、ウラナミアカシジミ、オオミドリシジミの3種3頭を見たとどまった。いずれも日中で地上から2-3mのところの木の葉表に止まっていたものである。これらはいずれも都市近郊の雑木林などで普通にいる種であるが、黒川地域も下止々呂美地域も今年は個体数がかなり少なく、また、発生時期に遅れを生じていたようだ。したがって、今回の結果をもって黒川地域のゼフィルスと環境との関係を論ずるには早計であると思われる。

その他 注目されるのは北摂地方全般に広く分布しているオオムラサキが黒川地域でも見られたことで、黒川公民館の横のクヌギの樹液に来ていたものと、公民館の上を飛び回っていたものの2頭が観察された。また、能勢地方は関西では数少ないスジボソヤマキチョウの産地として知られているが、黒川地域でも4月と10月に数頭確認することができた。北摂では広く分布しているが、そ

れほど数の多く見られないトラフシジミが早春にかなりの数を見ることができたことなども目に付いた。

5. 謝 辞

本調査は、兵庫県川西市の依頼を受け、「野生生物を調査研究する会」が行った自然環境調査の一貫としてなされたものである。この場を借りて、調査の機会を与えてくれた同会会長の今西将行氏、川西市教育委員会の牛尾 巧氏、ならびに調査の手ほどきを教えていただいた福原 整氏、西 隆広氏、また、調査報告を発表することをすすめていただいた近藤伸一氏に感謝します。また、調査に協力していただいた押木俊之氏、甲斐康伸氏に感謝します。

<参考文献>

- 1) 大阪昆虫同好会編(1989) 「北摂の蝶」.
- 2) 宝塚市教育委員会(1992) 「宝塚の昆虫 I」.
- 3) 「蝶類採集情報総集編1989~1995所収」、蝶研出版.
- 4) 大阪市立自然史博物館編(1983) 第10回特別展「北摂の自然」解説.
- 5) 小坂利明(1994) 「猪名川流域の蝶」、詩画工房.
- 6) 仲田元亮(1978) 「能勢の昆虫 I」.
- 7) 西 隆広、私信.
- 8) 森地重広(1996) 大阪府能勢町の蝶、蝶研フィールド 11 (11); 4-15.
- 9) 石井実、広渡俊哉、藤原新也(1995) 「三草山ゼフィルスの森」のチョウ類群集の多様性、Jpn. J. Environ. Entomol. Zool. 7(3); 134-146.
- 10) 藤岡知夫(1981) 「日本の蝶」、ニュー・サイエンス社.
- 11) 猪又敏男(1990) 「原色蝶類検索図鑑」、北隆館.

(KINOSHITA SHUICHI 池田市伏尾台5-1-5-901)

キアシハナダカバチモドキの大発生について

中西 明徳

1996年8月6日、三田市役所の管理課からフラワータウン富士が丘の緑道にハチが多数発生して飛び回っており、作業をするのに支障がある、駆除したいが薬剤を撒いても大丈夫だろうかという問い合わせがあった。一般の人の目にとまる程の大きさのハチで、しかも大量に発生しているという事から推定すればアシナガバチ類もしくはスズメバチ類の可能性があると考えられた。とにかく一匹でよいからハチを持ってきて欲しいと伝えたところ、早速ハチが届けられた。

体は黒色で、数本の白色の帯が腹部に見られる等、一見したところクロスズメバチかと思われた。ところが手にとって見ると、キアシハナダカバチモドキというきわめて珍しいハチではないか。これは大変なものが出てきたという訳で、三田市の方へは薬剤散布はしないようにとだけ取りあえず伝えて貰い、橋本佳明さんと一緒に早速現地に出かけてみた。現地は兵庫県立人と自然の博物館から歩いて10分足らずという本当に目と鼻の先にあった。

連絡を受けた通り、緑道内のツツジの植え込みを中心に無数のハチが飛んでいる(第1図)。地面にはこのハチが出できたと思える穴がたくさん開いており、その中に潜り込む個体もある。この日見られたハチは多くがオスであったが、中には直翅類の昆虫を捉えてきて穴に入ったメス個体もあった。一通り発生状況を確認し、写真を撮った後、いくつかを博物館資料として採集した。この日現地でみた個体は100を遥かに越えていた。

三田市へは、このハチは手で捕まえない限り刺される事はない、この発生は長くて2週間ぐらいで終わるだろう、さらに全国的にみてもきわめて珍しい昆虫であり、薬剤散布という手段を用いる

必要は全く無いという事を伝えて置いた。

この出来事があってから数日後(8月16日)に、神戸市立森林植物園の三宅慎也さんから藤原台と鹿ノ子台の2カ所でキアシハナダカバチモドキが多数発生しているという情報を頂いた。案内してもらえという事であったから早速大谷剛、八木剛の両氏と出かけ、森林植物園と神戸市土木局北区出張所の方々に現地を案内して貰った。現場は次の通り：

1. 掖谷(ねぶたに)公園(神戸市北区鹿ノ子台)；造成後間もない公園内の緩斜面、疎らに庭園木が植林されている。
2. 渡り尾公園(神戸市北区藤原台)；公園内の砂場。

三宅さんの方への情報は、2に多数のハチが飛び回り、子供が遊び回る関係で危険だという観点

お手数ですが同封のカラーコピーを
貼り付けて下さい

第1図 キアシハナダカバチモドキ ♂
三田市富士が丘, 1996-8-6

からの情報であったようで、早速に機械が入り整地されてしまった。発生している時点では、砂場に無数の穴が明き、ハチが飛び回っていたという。現地を見に行ったときには、表面は見事に均されており穴は見あたらなかった。それでも時々メスパチが獲物を抱えて戻ってきていたので幾らか残っていたのであろう。1に関しては前日関西を通り抜けた台風6号による被害状況を土木局の人が調べに行った際に見つけたという。それほど多くの個体がみられた訳ではないが、その殆どがメスであり盛んに狩から帰ってきていた。

当日、ついでに富士が丘の発生地に回ってみたが、発生は殆ど終わったと見えてごく少数のメス個体がみられただけであった。

キアシハナダカバチモドキ(*Stizus pulcherimus* Smith)のプロフィール

アナバチ科に含まれる体長2cm程の中型のカリバチで、地中に主坑の長さ40cmにも達する巣坑を堀り、直翅目昆虫を狩り幼虫の餌とする。この営巣習性から生息地は限られており、海浜の砂質地にやや集団で巣を作るという(岩田久二雄, 1982)。

日本では本州、四国、九州に分布するとされる(安松京三, 1965)。兵庫県においては神戸市須磨区の須磨浦公園内の砂礫地で発生が確認されている。その他、神戸市灘区の神戸大学構内や武庫川の河原でかつて見かけた事があるという(八木 剛, 私信)。この様に本種は日本の各地に分布していた可能性はあるが、正確な分布地の記録もほとんどなく、その特殊な生息環境のため絶滅に至った地域も多々あるものとおもわれる。

国外における本種の営巣地は海浜や河川砂礫地に限られて居ないようで、朝鮮では礫の混じった赤土で被われた小丘上の日当たりの良い裸出地で集団で営巣している事が報告されている(常木勝次, 1943)。

大発生を巡るいくつかの疑問

これまで居なかったのか？

三田市富士が丘の発生地は、1週間に一度チョウのセンサスのために二人一組で歩いていたルートの上に引っかかっている。これまでの3年間はこのハチの発生には気がつかなかった。もし今年のように大発生していたものなら恐らく気がついていただろう。細々と発生を繰り返していたのだろうか。尚、8月8日は定期調査で現地も通ったが、その時には6日と同様に多数の個体が飛翔していたが、オス個体が大部分であった。

このハチはどこから来たのか？

上に述べたようにこのハチは日本では本来海岸の砂浜や、河原の砂地等に営巣するハチである。今回発見された営巣地は、藤原台の砂場を除いては本来の繁殖地とはかけ離れた生息環境にある。従ってこのハチの由来に付いては、大きく2つが考えられる。

- 1：元々神戸市の北から三田地方にかけた低山の日当たりの良い裸出地(砂礫地?)に棲んでいたが、開発にともなってこのハチに取って好適な環境が拡大し、徐々に個体数を増やしてきて、この度爆発的に増加した。
- 2：本来今回発見された地には居なかったが、公園や砂場の造成のために他所から運んできた土や、砂などの中にこのハチの巣や幼虫などが含まれており、これらから発生したハチが世代を繰り返した後に、昨年から今年にかけて何らかの好条件に恵まれて今年大発生した。

上記の1のケースの場合には、ここ近年開発されたさまざまな土地でもっと普遍的に同様に発生しても良いと思われる。これまでの所そのような情報は得ていないので可能性は少ないかも知れない。

い。2のケースの場合には同じ様な造成を行なった所で、しかも同じ所から土や砂を持ってきた所が有ればこの可能性がより強く支持される。掖谷公園の造成に用いた土は三木市口吉川から運ばれたという事は分かっている(神戸市土木局北神戸出張所の話)。三田市フラワータウン富士が丘の緑道整備の土や藤原台の渡り尾公園の砂が何処から来たかが明確になればそれらの現地で発生の有無を確認したい。

来年以降どうなるのか？

プロフィールで見たとおりこのハチは全国的にも大変珍しいものである。兵庫県では須磨浦公園が唯一の確かな発生地である。ただ此処もこの数年現認はされてはいない。兵庫県版レッドデータブックには、きわめて珍らしい昆虫であるが偶発的な発生の可能性があるから、敢えてこの種とその発生地を推薦する事をしなかった。来年以降神戸北部から三田へかけての地域で継続的に発生する事が確認されるなら、それらの土地そのものの保護を図る位の価値があるだろう。

来夏にはこのハチの発生を広域に調べる必要がある。一般の注意を喚起する方策を考えたい。本種の発生に気がつかれたときに連絡頂けると幸いです。

尚、東京都足立区の荒川放水路河川敷からも本種の1♂, 1♀が記録された(青木 隆, 1996)。日本全国で本種が大発生しているのかも知れない。

本小文を記すにあたり、現地に行かれた兵庫県立人と自然の博物館の大谷剛、橋本佳明、八木剛の諸氏、発生情報を寄せられた神戸市森林植物園学習の森の三宅慎也氏ならびに発生現場へ案内された神戸市北土木局の皆様へ御礼申し上げます。

<参考文献>

- 常木勝次(1943) キアシハナダカバチモドキ (*Stizus pulcherrimus* Smith)の習性. むし, 15: 37-47.
- 安松京三(1965) 原色昆虫大図鑑 III. 301p., 北隆館.
- 岩田久二雄(1982) 日本蜂類生態図鑑. 23-24pp., 講談社
- 青木 隆(1996) キアシハナダカバチモドキを東京都足立区で採集. 月刊むし, No. 308, Oct. 38p.

(NAKANISHI MEITOKU 〒669-13 三田市弥生が丘
6 兵庫県立人と自然の博物館
Tel. 0795-59-2012, Fax. 59-2019)

神戸のヘリグロチャバネセセリ 山口 福男

神戸市のヘリグロチャバネセセリについて、私は本誌第24巻2号30ページに採集記録の確認がとれていないと報告した。このことについて近藤伸一・岡村八郎・青木陽一の3氏から早速連絡をいただき、本種が六甲山系の南面で採集されていることが確認できた。採集地点は袖谷・再度谷・鳥原、時期は6月下旬から7月。詳細なことについてはそれぞれ報告されると思われるので、ここではとりあえず速報して文資をとらせていただくことにしたい。情報をいただいた各氏に厚くお礼を申し上げる。

(YAMAGUCHI FUKUO 神戸市須磨区神の谷3丁目6-4)

兵庫・神戸を原産地とする甲虫・追加^{*}

高橋 寿郎

「兵庫・神戸を原産地とする甲虫」と題する拙文を本誌第23巻第3号(特別号)に発表して頂いたが、最近ある必要があり文献を調べていて次の種が脱落しているのに気がついたので、此处に追加種として発表させて頂きたい。

また、前回まとめた1995年以降に発表になった種が5種あるので、それらも合わせ此处にまとめておく。

Family Scolytidae キクイムシ科

Xyleborus takinoyensis MURAYAMA, 1953

タキノヤキクイムシ

Xyleborus takinoyensis MURAYAMA, Rep. Pine Bark-Beetle Cont. Inv. Soc. (Studies in the Pine Bark Beetle Control), p. 109, 1953.

Type, ♀, Takinoya, Yabu Country, Hyogo Pref. (11. VII. 1951) (兵庫県養父郡建屋)

Trees attacked: *Castanea crenata*.

× × × × × ×

Family Carabidae オサムシ科

Trichotichnus (s. str.) *chugokuensis* N. ITO, 1996

Trichotichnus (s. str.) *chugokuensis* N. ITO,

Ent. Rev. Japan 51(2):130, Figs. 6, 12, 20& 22, 1996.

Paratypes, 1♂, 1♀, Akazai Val. Hyogo Pref. 2. IX. 1979, 1♀, ditto 11. VII. 1985, N. ITO leg.

Family Staphylinidae ハネカクシ科

Piestoneus oharai NAOMI, 1995

Piestoneus oharai NAOMI, Jpn. J. Ent., 63(4):

775-779, 1995

Paratypes. 1ex., Hyonosen, Hyogo Pref. 25-28. VII. 1975, H. SASAJI Coll. (NAOMI Collection).

Lathrobium ohkurai Y. HAYASHI, 1996

Lathrobium ohkurai Y. HAYASHI, Ent. Rev. Japan 51(1):16-18, Figs. 1-10, 1996.

Holotype: ♂, Mt. Amaishi Sasayama T., Hyogo. 25. VI. 1992, Y. HAYASHI leg. (in coll. T. SHIBATA).

Allotype: ♀, same data as the holotype.

Paratype: 4♂♂, 1♀, same data as the holotype. 15♂♂, 9♀♀, same locality as the holotype. 25. I. 1992, 16. III. 1985, 30. IV. 1988, 4 and 28. V. 1989, 10. V. 1986, 19. V. 1983, 21. V. 1992 and 13. X. 1985, Y. HAYASHI leg.

Lathrobium ishidai Y. HAYASHI, 1996

Lathrobium ishidai Y. HAYASHI, Ent. Rev. Japan 51(1):19-21, Figs. 4-19, 1996.

Holotype ♂ (in coll. T. SHIBATA) and allotype ♀, Mt. Amaishi Sasayama T., Hyogo. 20. VI. 1992, Y. HAYASHI leg.

Paratype 4♂♂, 10. V. 1986, 28. V. 1989, 2. VI. 1990 and 25. VI. 1992, Y. HAYASHI leg.

Family Cerambycidae カミキリムシ科

Miccolamia (*Isomiccolamia*) *pluræ* TAKAKUWA et N. OHBAYASHI, 1995.

* 兵庫県甲虫相資料・335

Miccolomia (Isomiccolamia) plurae TAKAKUWA et
N. OHBAYASHI, Jpn. J. Syst. Ent. 1(2): 194
-197, Figs. 3-9, 1995.
Paratype. 1♂, Mt. Hyonosen, Hyogo Pref.
5. V. 1973, M. YUMA leg.

(III. 1997)

(TAKAHASHI TOSHIO 神戸市兵庫区氷室町1-44)

兵庫県のハバチ (1)

ホシアシブトハバチ

矢代 学

兵庫県のハバチ類に関する文献は少なく、採集記録や生態に関する記録は殆どない。私は、コンボウハバチ科 (Cimbicidae) を主にハバチ類を集めており、兵庫県産を中心にハバチ類の分布及び生態的知見について述べていくつもりである。

最初にホシアシブトハバチを紹介する。

ホシアシブトハバチ *Agencimbex jucunda* Motsary, 1896 は、体長12~18mmで頭胸部が青色光沢ある黒色、腹部は鮮やかな橙色の美しい種で、日本国内では本州、四国、九州に分布し、中国からも知られている。

成虫出現時期は、4月上旬から5月上旬である。エノキを植樹としているので各地に分布していると思われるが、成虫の採集記録は非常に少ない。かつては、ハバチ界の大稀種と言われていた。

私自身、大学入学当時(1975年)に神戸大学構内のエノキから幼虫を採集して以来20年近く成虫を採集する機会に恵まれなかった。また、幼虫を採集しても飼育が難しく繭を作っても成虫を得られなかった。1994年4月16日、この年初めて成虫を羽化させることに成功し、雌を生かしておいたところ家の周りをホシアシブトハバチが飛び回っているのを家族が発見してくれた。

翌4月17日、前年に幼虫を採集したエノキを見

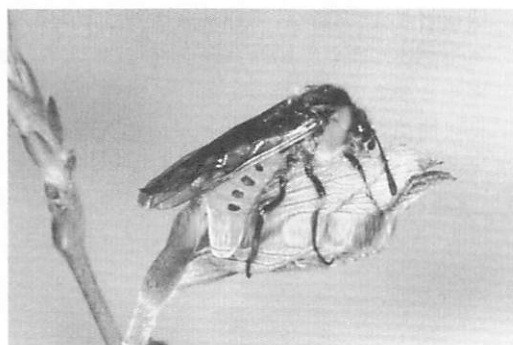
てわたしは、うれしい悲鳴をあげた。樹高10m程のエノキの周囲をホシアシブトハバチが乱舞していた。上部の梢には交尾中のペアも認められた。20頭程の本種が樹冠を飛び交う様はまるで夢を見ているようであった。このエノキで配偶行動や産卵の様子を観察することができ、今までの空白を埋めることができた。交尾が非常に短い期間(1日ないし2日)に行われること、交尾後雄は、分散してしまう事などである。

1994年は、本種の当たり年だったようで、前述の自宅付近(加古川市平岡町)以外でも、採集することができた。また、斉藤寿久前箕面昆虫館館長から川西市産標本を頂いた。

その後、このエノキは伐採されてしまい、私の絶好の観察ポイントが無くなったのは残念である。

私の所有している兵庫県産本種のデータは、以下の通りである。

高砂市伊保町	1994, 4, 21	3♂	矢代 学採集
加古川市平岡町	1994, 4, 17	7♂, 6♀	"
西宮市香炉園町	1994, 4, 22	4♂	"
芦屋市大東町	1994, 4, 13	1♀	"
川西市笹部	1994, 4, 26	1♀	斉藤寿久採集
小野市青野ヶ原	1995, 5, 4	1♂	矢代 学採集
小野市青野ヶ原	1996, 4, 30	1♂	"



エノキに産卵するホシアシブトハバチ

1994, 4, 21 加古川市平岡町

(YASHORO MANABU 加古川市平岡町一色東1丁目
578-10)

県 関 係 文 献 紹 介

○ 洲本市立淡路文化史料館編並びに発行(1996)

「淡路島の自然シリーズ 淡路島の昆虫」 B5, 10p.

1996年7月30日～9月8日に淡路昆虫研究会と自然環境研究所の協力で、洲本市立淡路文化史料館において企画展「淡路島の自然シリーズ 淡路島の昆虫」が開催され、その時出版されたものである。淡路島の昆虫が写真入りで要領よく解説されており、同島の昆虫相の概要がわかりたいへん参考になる出版物であるので、此处に紹介しておく(1997年1月7日に送られてきたもので紹介が遅くなった)。(T)

○ 野生生物を調査研究する会発行(1996.Ⅷ)

「生きている武庫川」(総集編・資料編)

武庫川流域の自然を絵と写真で紹介したもので[総集編];武庫川の生い立ち、流域の概況, 52p. [資料編];動物・植物・岩石の写真と説明, 112p. の2冊からなっている。ほぼフルカラーのきれいな本である。ただ一般の人が対象のものであるから資料としては物足りない。監修者に八木 剛氏、この本を作った人たちの中に近藤伸一氏、高島 昭氏と本会のメンバーの方たちもふくまれている。

本書希望の方は「野生生物を調査する会」〒665 宝塚市伊子志3丁目16-27(電話0797-71-4452)に申し込めば2,500円(送料310円)にて送本して貰える(振替 01100-2-42169)。

本書も1996年8月出版となっているが、知ったのは1997年3月であった。(T)。

○ 兵庫県立人と自然の博物館刊行(1996・Ⅲ)

「兵庫県南部地震における人と自然の博物館の活動」 A4, 112p.

標題のごとく兵庫県南部地震における人と自然の博物館館員の活動と題して、断層を中心とした6つの報告がふくまれ、総合共同研究「兵庫県南部地震と六甲山系」と題して地形地質、植生、鳥類、昆虫等に関する9つの報告がふくまれている。

昆虫関係では、中西明德・沢田佳久両氏による「六甲山系北麓のゲンジボタル」(p. 81-84)、中西明德・大谷 剛両氏による「チョウと共生する街造り」(P. 85-88)の2報告がふくまれている。

(本書の出版は1996年3月となっているが、送られてきたのは1997年3月であった)(T)。

県関係・学会誌・同好会誌・連絡誌

(X・1996 - III・1997)

- 兵庫生物ニュース(兵庫県生物学会) No. 27 (X・1996)
- の せ (大阪昆虫同好会連絡誌) Vol. 25, No. 6~No. 13 (1996・VI~1996・XI)
Vol. 26, No. 1 (1997・I)
- Awajiensis (自然環境研究所) Vol. 4 (X・1996)
- PARNASSIUS (淡路昆虫研究会会誌) No. 44 (XI・1996)
- 姫昆サロンニュース(姫路昆虫同好会連絡誌) No. 122 (I・1997)
- Crude (大阪昆虫同好会会誌) No. 41 (1997・I)
- 混蟲ずかん (但馬むしの会連絡紙) No. 56 (II・1997)
- 自然とともに(兵庫県環境政策課林務課刊) No. 36 (II・1997)
- Nature and Human Activities (県立人と自然の博物館・英文紀要) Vol. 1 (1996)
- 人と自然(県立人と自然の博物館・邦文紀要) No. 7 (1996)

交 換 誌

- KURAKON (倉敷昆虫同好会連絡紙) No. 38 (X・1996)
- FUTAO (フタオ会) No. 23 (VII・1996), No. 24 (I・1997)
- 混蟲ずかん (但馬むしの会連絡紙) No. 56 (II・1997)
- 蝶類年鑑 1995 (蝶研出版) (II・1997)

編 集 後 記

きべりはむし第25巻第1号をお届けします。兵庫昆虫同好会も結成以来25年目を迎えることになりました。顧問の奥谷先生にはわざわざお祝いの言葉をお寄せいただきありがとうございました。今回も力作ぞろいで、しかも甲虫・チョウ・ガ以外にゴキブリ・ハバチなどジャンルの幅が広がりました。貴重なデータを投稿頂きました会員の皆様には厚くお礼申し上げます。いろんな分野で活躍されている方々がおられることを肌で感じ、大変心強く思います。

私たちが編集作業を引き継いだときに密かに立てた目標があります。それは1号50ページ(年間100ページ)の達成というものでしたが、早くも定着といった感があります。あまり枠を広げると多くの同好会が苦慮しているように原稿難になるのではないかといった懸念もあったのですが、蓋を開けてみるとそれは取り越し苦労だったようです。編集担当者としても嬉しく思うと同時に、会の趣旨に賛同しデータを御提供頂いたり、激励を頂きました多くの皆様方に改めて感謝申し上げます。また、今後もジャンルの広がりや連載ものが増加することが予想されますので、できるだけ多くの方々のデータを掲載できるよう増ページも含めて検討したいと考えています。

さて、25周年の記念事業として前号でお知らせしました「きべりはむし総目次」は1998年春に発行したいと思います。また、今年度末には特別号の発行も予定しています。内容は高橋さんの「日本産コガネムシ科総目録」という壮大なもので既に編集作業にとりかかっております。ご期待下さい。

次号は1997年11月発行の予定です。原稿の締切は9月末日とさせていただきます。短報大歓迎ですので、身近な記録もどしどしお寄せ下さい。

(編集担当：近藤伸一・高島昭)

きべりはむし 第25巻 第1号
1997年 5月 25日 発行

発行：兵庫昆虫同好会
〒652 神戸市兵庫区氷室町1丁目44 高橋寿郎方
振替 01170-3-26646

編集：近藤伸一・高島昭
原稿送付先 〒671-22 姫路市書写2542-2 高島昭宛

印刷：岩峰社

目 次

兵庫昆虫同好会の25周年を祝う……………奥谷 禎一	1
兵庫県産水棲甲虫目録(1) (兵庫県甲虫相資料・332) ……………高橋寿郎	2
兵庫県水上郡地方の蛾類(2)……………山本 義丸	11
兵庫県産蝶類分布資料(8) —ミドリシジミ族 3種の記録— (ヒサマツミドリシジミ・アイノミドリシジミ・メスアカミドリシジミ) ……………広畑政巳・近藤伸一	23
播磨の昆虫 ゴキブリ分布資料 (播磨の昆虫分布資料④) ……………相坂耕作	29
越冬前のウラギンシジミ……………近藤伸一	30
上郡町で採集した蛾(1) (兵庫県産蛾類分布資料・6) ……………高島 昭	31
フタイロカミキリモドキの兵庫県北部からの採集記録 ……………永幡嘉之	39
黒川のチョウ……………木下修一	40
キアシハナダカバチモドキの大発生について……………中西明徳	45
神戸のヘリグロチャバネセセリ……………山口福男	47
兵庫・神戸を原産地とする甲虫・追加 (兵庫県甲虫相資料・335) ……………高橋寿郎	48
兵庫県のハバチ(1) ホシアシブトハバチ……………矢代 学	49
県関係文献紹介……………	50
県関係・学会誌・同好会誌・連絡誌(X・1996—III・1997)……	51
交 換 誌……………	51
会員異動……………	52